平成 30 年度

事業報告書

地域福祉イメージキャラクター

ふくろうのしいちゃん

社会福祉法人

甲賀市社会福祉協議会

目　次

事業総括 3
Ⅰ．　法人の組織運営 5
１．組織強化と人材育成 5
（１）定款変更 5
（２）理事会等の運営 5
（３）人事評価制度の実施 11
２．イクボス・働き方改革の取組み 11
（１）情報収集 12
（２）勤務状況や介護状況の調査 12
（３）職員研修等 13
（４）業務の効率化、合理化 13
３．財源の確保、他 14
（１）社協会費 14
（２）地域福祉基金 15
（３）補助金委託金の確保 15
（４）善意銀行の運営 15
（５）契約・入札関係 16
（６）苦情解決 16
（７）役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加 17
（８）法人関係会議、行事への参加他 20
Ⅱ．ご近所福祉でまちづくり 23
１．甲賀市ご近所福祉推進委員会 23
２．地域（町）ご近所福祉推進協議会 23
３．甲賀市災害福祉ネットワーク委員会 26
４．ご近所福祉活動の推進 28
（１）全体での取り組み 28
（２）水口地域福祉活動センター 30
（３）土山地域福祉活動センター 32
（４）甲賀地域福祉活動センター 35
（５）甲南地域福祉活動センター 36
（６）信楽地域福祉活動センター 38
（７）生活支援体制整備事業 41
（８）地域力強化推進事業（我が事・丸ごとの地域づくり） 42
５．地域活動推進助成事業 43
（１）ご近所福祉活動助成 43
（２）ふれあいいきいきサロン支援・助成事業 43
（３）ボランティアグループ助成事業 44
６．当事者支援 44
（１）子育て支援 44
（２）ひとり暮らし高齢者支援 46
（３）障がい者支援等 46
７．団体支援 49
（１）甲賀市民生委員児童委員協議会連合会 49
（２）介護者の会 51
（３）その他団体支援 52
８．福祉センター等指定管理事業 52
（１）社会福祉センター管理・運営事業 52
（２）老人福祉センター碧水荘（水口） 52
（３）老人福祉センターフィランソ土山 53
（４）老人福祉センター佐山荘（甲賀） 54

（５）甲賀市市民福祉活動センター（甲南） 54
９．甲賀市社協ボランティアセンター事業 55
（１）福祉ボランティア活動の活性化 55
（２）甲賀市ボランティア連絡協議会支援 57
（３）福祉学習等開催支援 57
（４）ボランティア助成事業 58
１０．広報、地域福祉大会、人材育成 58
（１）広報紙の発行 58
（２）地域福祉大会の開催 59
（３）職員報告会の開催 60
（４）実習生の受入れ 60
１１．市民福祉活動センター（あいこうか市民活動ボランティアセンター） 61
（１）市民福祉活動センターの運営 62
（２）甲賀市人材活性化事業 62
（３）市民活動つながり事業 64
（４）センター登録と需給コーディネート 64
（５）コミュニティ活動「自治振興会」「区・自治会」支援 64
１２．共同募金運動の推進 65
１３．その他受託事業等 65
（１）障がい児タイムケア事業 65
（２）障がい児等の居場所づくりの推進 68
（３）ファミリーサポートセンター事業 69
（４）こんにちは赤ちゃん事業 70
（５）認知症キャラバン啓発事業 71
（６）ふくしマンパワーねっと事業 71
１４．被災地支援 73
１５．機器貸出事業 73
Ⅲ．医療・介護・福祉連携への取り組み 75
１．在宅生活支援部の事業 75
（１）在宅看取りケア・認知症ケア 75
（２）各事業体制強化の取り組み 76
２．訪問介護事業 76
３．訪問入浴事業 79
４．通所介護事業 79
５．訪問看護事業 81
６．居宅介護支援事業 81
Ⅳ．「相談・支援」の取り組み 83
１.生活困窮者自立支援の取り組み 83
（１）自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進 83
（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施 85
（３）生活物資支えあい事業 86
２．生活支援活動 87
（１）資金貸付事業 87
（２）地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター） 88
（３）甲賀・湖南成年後見センターぱんじーへの支援・協働 90
３．障がい者への相談支援・計画相談支援の実施 91
４．滋賀の縁創造実践センター事業への参画・協働 91
５．身元保証人不在者支援への参画・協働 92
Ⅴ．福祉作業所の運営 93
１．つちやま福祉作業所 93
２．甲賀福祉作業所 95

事業総括

平成30年度本会は、第2次地域福祉活動計画2年目の年となり、計画で掲げた4つのプロジェクト（①見守り・支えあい・発見・解決プロジェクト、②ふ・く・しネットワークプロジェクト、③地域の居場所づくりプロジェクト、④災害にも強い地域づくりプロジェクト）を各町地域において、ご近所福祉推進協議会等が中心となり、より実行性のあるものとして推進いたしました。

甲賀市において、年々進む人口減少や少子高齢化、核家族化に伴う生活課題はますます複雑多様化しており、福祉の担い手も不足しています。こうした中、10月には甲賀市から「地域力強化推進事業」の委託を受け、地域において、とかく「他人事」になりがちな地域づくりを「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりを推進しています。

一方、地域の福祉課題解決のためには福祉人材の確保も必要不可欠です。本会は、法人内部で「イクボス・働き方改革」として業務改善や意識改革をするとともに、甲賀市の福祉人材がそれぞれの職場でより働きやすい職場環境となるよう、「ふくしマンパワーねっと」を活用して働き方改革について研修等も行いました。

また、介護分野においては、従来から培ってきた技術や専門性を高めるとともに、多様な介護サービスを展開している特性を生かしながら、チームケアの視点で「最期までその人らしく」を目標に取り組み、実績を積み重ねていきました。

さらに、昨年度は豪雨災害等の災害も多かった年でもありましたが、滋賀県社協とも連携し、近畿ブロックのメンバーとしての被災地（倉敷市）の災害ボランティアセンター運営支援について職員派遣を行いました。

≪重点事業の取り組み≫

１．地域福祉活動計画のプロジェクト推進

前述の地域福祉活動計画の実現に向けて、各5町のご近所福祉推進協議会が中心となり、地域の実態やニーズに応じた活動を展開しました。

さらに「地域力強化推進事業」に基づく「ご近所福祉コーディネーター」を各町に設置するなどにより、地域の課題解決に取り組める体制をより一層強化しました。

２．ふくしマンパワーネットこうか推進

3年目となる市の委託事業として、事業を継続しながら、市内の福祉人材の確保や

働き方について合同研修をするとともに、ご近所福祉推進協議会と専門職との意見交換の場を設けるなど、より具体的な地域の福祉課題の解決に向けた取り組みを行いました。

３．在宅看取りケアの推進

訪問看護を含め幅広い介護サービス事業を展開する本会の強みを生かし、チームケアの視点で在宅看取りに取り組みました。「最期までその人らしく」を目標に、喀痰吸引などの専門性を持った職員が協力して関わり、実績を積み重ねることにより、自信とスキル向上につなげました。

４．認知症への支援

認知症キャラバン啓発事業の推進や認知症ケアの向上を目指し、「ひもときシート」や「ICF」を活用することでこれまでの知識と経験に基づくケアから、統一した目標や考えによるケアへと転換し、成果をあげました。

５．「イクボス」の推進

昨年度の「イクボス宣言」に基づき、「イクボス・働き方改革推進チーム」を法人内に組織して、「イクボス」や「働き方改革」についての情報収集や、勤務状況等の調査を行うとともに育児中の職員による「サロン」を実施し、意見を聞く場を設けました。さらに業務の効率化を推進するなど、「イクボス・働き方改革」の初年度としての取り組みをスタートさせました。

Ⅰ．法人の組織運営

１．組織強化と人材育成

（１）定款変更

【変更内容】　①平成 30 年 10 月 1 日施行改正
　　○第 2 条の事業に「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を追加。
【変更手続】　①理事会承認（平成 30 年 6 月 5 日）
　　②評議員会承認（平成 30 年 6 月 22 日）
　　③定款変更認可申請書（平成 30 年 7 月 20 日、甲賀市長へ提出）
　　④定款変更認可通知（平成 30 年 9 月 28 日、甲賀市指令第 38 号）

【変更内容】　①平成 31 年 3 月 22 日施行改正
　　○第 5 条第 2 項の従たる事業所を全文削除。
【変更手続】　①理事会承認（平成 31 年 3 月 8 日）
　　②評議員会承認（平成 31 年 3 月 22 日）

（２）理事会等の運営

≪理事会≫　理事 13 名　監事 2 名

法人業務の適切な運営を図るため、理事をもって組織する理事会によって業務内容の検討や決定を行った。

①【日　時】5 月 1 日（火）　14：00～17：00
【内　容】《報告事項》
・平成 29 年度社会福祉法人等指導監査の結果
《審議事項》
・定時評議員会の招集（案）
・会長、常務理事の職の執行状況
・公印規程の一部改正（案）
※原案通り可決
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 11 名、監事 2 名

②【日　時】6 月 5 日（火）13:30～16:30
【内　容】《報告事項》
・平成 29 年度地域福祉基金の活用
《審議事項》
・平成 29 年度事業報告（案）

・平成 29 年度一般会計資金収支決算（案）
・定款の一部改正（案）
・平成 30 年度一般会計資金収支第 1 次補正予算（案）
・評議員選任、解任委員会の招集（案）
・経理規程の一部改正（案）
・給与規程の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 12 名、監事 2 名

③【日　時】7 月 3 日(火)　14:00～14:25
【内　容】《報告事項》
・退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任結果
・平成 30 年度定時評議員会の開催結果
《審議事項》
・パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】信楽地域市民センター
【出　席】理事 13 名、監事 1 名

④【日　時】10 月 2 日（火）14：00～15：30
【内　容】《審議事項》
・退任に伴う第 8 期補欠評議員選任候補者の推薦（案）
・評議員選任・解任委員会の招集（案）
・パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】甲賀市市民福祉活動センター
【出　席】理事 13 名、監事 2 名

⑤【日　時】1 月 8 日（火）13：30～15：35
【内　容】《審議事項》
・ヘルパーステーションみなくち・つちやま・こうか・こうなん・しがらき（指定介護予防訪問介護）ならびに碧水荘デイサービスセンター・デイサービスセンターすこやか荘（指定介護予防通所介護）運営規程を廃止する規程の制定（案）
・デイサービスセンターすこやか荘（指定通所介護）・（通所型サービス「現行相当」）運営規程の一部改正（案）
・介護予防日常生活支援総合事業にかかる訪問型サービス A 事業ならびに通所型サービス A 事業の実施（案）
・甲賀市社協訪問介護予防いきいきステーション（訪問型サービス A）なら

びにデイサービスセンターすこやか荘（通所型サービス A）運営規程の制定（案）
・ケアプランセンター事業統合にかかるケアプランセンターそらの事業廃止（案）
・ケアプランセンターそら運営規程を廃止する規程の制定（案）
・事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正（案）
・第三者委員会設置規程の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 11 名、監事 1 名

⑥【日　時】2 月 5 日（火）13：30～16：40
【内　容】《報告事項》
・社会福祉法人等指導監査について
・会長専決による運営規程の一部改正について
《審議事項》
・正規職員就業規則の一部改正（案）
・嘱託職員就業規則の一部改正（案）
・パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
・視覚障がい者登録ガイドヘルパー就業規則の一部改正（案）
・育児・介護休業等に関する規則の一部改正（案）
・表彰・懲戒規程の一部改正（案）
・妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程の一部改正（案）
・経理規程の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 13 名、監事 2 名

⑦【日　時】3 月 8 日（金）13：30～16：45
【内　容】《審議事項》
・経理規程の一部改正（案）
・平成 30 年度一般会計資金収支第 2 次補正予算（案）
・平成 31 年度事業計画（案）
・平成 31 年度一般会計資金収支予算（案）
・定款の一部改正（案）
・事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正（案）
・文書取扱規程の一部改正（案）
・評議員会の招集（案）
・事務局長の選任（案）

・理事の選任（案）
・常務理事の選任（案）
・会長・常務理事の職の執行状況
※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 11 名、監事 2 名

≪役員会≫　15 名

役員（理事・監事）の交流や意見交換、研修を目的に役員会を開催した。

①【日　時】7 月 3 日（火）　14：30～15：45
【内　容】《視察研修》
・信楽地域福祉活動センター　・ケアプランセンターしがらき
・ヘルパーステーションしがらき　・訪問看護ステーション信楽サテライト
【場　所】信楽地域市民センター
【出　席】理事 13 名、監事 1 名

②【日　時】10 月 2 日（火）　15：40～16：45
【内　容】《視察研修》
・甲南地域福祉活動センター　・あいこうか市民活動ボランティアセンター
・ケアプランセンターそら　・ヘルパーステーションこうなん
【場　所】甲賀市市民福祉活動センター
【出　席】理事 13 名、監事 2 名

③【日　時】11 月 6 日（火）　14：00～16：10
【内　容】《視察研修》
・ケアプランセンターぬくもり　・訪問看護ステーション
・碧水荘デイサービスセンター　・老人福祉センター碧水荘
【場　所】水口社会福祉センター他
【出　席】理事 11 名、監事 1 名

④【日　時】12 月 4 日（火）　15：00～17：30
【内　容】《報告事項》
・平成 30 年度事業概要について（各部門より報告）
・平成 30 年度一般会計中間執行状況について
・平成 31 年度ご近所福祉活動助成金について
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 13 名、監事 1 名

≪評議員会≫　37 名

法人の諮問機関として位置づけ、年間 2 回の評議員会を開催し、住民の幅広い意見を反映しながら法人運営にあたった。

①【日　時】6 月 22 日（金）14:00～16：00

【内　容】《報告事項》

・退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任

《審議事項》

・平成 29 年度事業報告（案）・平成 29 年度一般会計収支決算（案）・定款の一部改正（案）・平成 30 年度一般会計資金収支第 1 次補正予算（案）

※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】評議員 28 名、理事 4 名

②【日　時】3 月 22 日（金）14：00～15：30

【内　容】《審議事項》

・退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任

・平成 30 年度一般会計資金収支第 2 次補正予算（案）・平成 31 年度事業計画（案）・平成 31 年度一般会計収支予算（案）・定款の一部改正（案）・理事の選任（案）

※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】評議員 30 名、理事 4 名

≪評議員選任・解任委員会≫　3 名

法人の評議員の選任・解任を行うための機関として設置し、第 8 期の評議員の選任を行った。

①【日　時】6 月 12 日（火）13：30～14:00

【内　容】退任に伴う第 8 期評議員の選任について

6 名退任に伴い 6 名を選任

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】評議員選任・解任委員（3 名）、常務理事

②【日　時】10 月 3 日（水）9：30～10:00

【内　容】退任に伴う第 8 期評議員の選任について

1 名退任に伴い 1 名を選任

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】評議員選任・解任委員（3 名）、常務理事

≪監査会、その他の監査≫

①社会福祉協議会定例監査

法人の事業運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率よくまた、適切に行われているか確かめるため、監事による監査を行った。

【日　時】5 月 28 日（月）13：30～16：15
【内　容】平成 29 年度 実施事業監査、会計決算監査
【結　果】指摘事項なし
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】監事 2 名（大辻税理士法人 1 名）
会長、副会長（2 名）、常務理事、次長、法人運営部長、主任、在宅生活支援部長、地域活動支援部長

②その他の監査

○社会福祉法人指導監査(甲賀市)

法人の運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率よくまた、適切に行われているか確かめるため指導監査を受け、口頭指導については速やかに改善を図った。

【日　時】11 月 26 日（月）9：30～14：30
【内　容】業務執行状況検査、財産管理状況検査、会計状況検査
検査官　甲賀市役所健康福祉部　社会福祉課・障がい福祉課（5 名）
【結　果】文書指摘事項　なし
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】会長、監事（2 名）、常務理事、次長、法人運営部長、総務課長、係長（会計）、税理士事務所（1 名）

○月例監査

法人の会計業務が経理規程の定めに従い、効率的かつ適切に行われているか確かめるため、顧問税理士による監査を毎月行った。

大辻税理士法人による月次会計監査の実施
・社協一般会計（年間 12 回）

≪三役会議≫

社会福祉法人として適切で充実した法人運営を図るため、会長・副会長・常務理事の出席および部長級以上の職員参加の中、次の会務を実施した。

①【日　時】平成 30 年 5 月 18 日（金）15：00～
【内　容】監事会・理事会提案事項について協議

【場　所】水口社会福祉センター

②【日　時】平成 30 年 9 月 14 日（金）　14：00～
【内　容】地域福祉権利擁護事業に係る預かり物の取り扱いについて
10 月の定例理事会提案事項について（議案・研修）
【場　所】水口社会福祉センター

③【日　時】平成 31 年 1 月 8 日（火）　16:30～
【内　容】役職員人事について
社協会長表彰・感謝状授与者・団体の決定について
【場　所】水口社会福祉センター

④【日　時】平成 31 年 2 月 26 日（火）　13：30～
【内　容】理事会提案事項について
・甲賀市共同募金委員会運営委員会・社協理事会
【場　所】水口社会福祉センター

（３）人事評価制度の実施

平成 30 年度は実態に合わせて賃金制度のマニュアルの見直しを行い、考課者訓練時に説明を行い職員全体の周知を行った。また、30 年度は賞与への評価反映割合の見直しが必要となり、賃金制度マニュアルの改正と併せて給与規程の改正を行った。

【人事審査委員会】　局長・次長・法人運営部長・地域活動支援部長・在宅生活支援部長・副部長　6 回
（4 月 25 日、26 日、10 月 29 日、31 日、1 月 10 日、2 月 6 日）

【評価制度説明会】〇新任職員研修　4 月 3 日（火）13:00～15：30
7 月 11 日（水）13:00～15:30

【考 課 者 訓 練】〇考課者訓練　9 月 27 日（木）　18:00～20:00
考課者訓練（欠席者）10 月 9 日（火）　18:00～20:00

２．イクボス・働き方改革の取組み

平成 29 年 11 月 3 日に「イクボス共同宣言」を行い、平成 30 年度はイクボス推進チームを社会福祉協議会内に設け、職場と生活の調和の応援と、働き方を見直し推進するために以下のさまざまな事業の取り組みや研修会開催等を行った。

また、「カエル会議」（早くカエル、仕事の仕方をカエル、意識をカエル）を推進し、事業所ごとに業務効率化シートを作成して改善内容を検討し、業務の効率化に向けて取り組みを行った。そして、特にすぐれた取り組みについては会長表彰を行い、顕彰した。

今年度の取り組みについては、甲賀市とあいコムこうからも取材を受け、甲賀市の広報紙（平成 31 年 4 月 1 日号）への掲載と、取り組みについての動画放映も行われた。

（１）情報収集

①滋賀労働局雇用環境均等室

コンサルタントによるアドバイス

6 月 25 日（月）、7 月 20 日（金）、10 月 10 日（水）

②甲賀市女性活躍推進室（イクボス相談窓口）

・アドバイザー派遣事業、イクボスセミナー、社内キーパーソン養成講座の受講

③イクボスアワード受賞者への聞き取り

・エーデル土山　廣岡施設長（イクボスアワード 2017 受賞者）　5 月 23 日（水）

④育児中の職員サロンの開催

１）10 月 18 日（木）かふか生涯学習館（甲賀）　参加者 4 名

２）10 月 24 日（水）甲賀市市民福祉活動センター（甲南）　参加者 9 名

３）10 月 25 日（木）水口社会福祉センター（水口）　参加者 5 名

対象：就学前の子を育児している職員 21 名（育児休暇中職員 3 名は除く）

（２）勤務状況や介護状況の調査

①有給休暇の取得率（平成 27 年度～29 年度）

1 人当たり　正規 44.6%　嘱託 74.2%　臨時 62.9%

（平成 30 年度）　正規 57.7%　嘱託 73.3%　臨時 86.5%

②時間外労働（平成 27 年度～29 年度）1 人当り平均　7.5 時間

（平成 30 年度）　6.48 時間

③平均離職率（平成 27 年度～29 年度）　正規　3.86%　臨時　16.2%

（平成 30 年度）　正規　2.2%　臨時　20.7%

④介護中の職員についての調査

１）常時介護が必要な親族がいる

正規・嘱託　6.1%　臨時　12.5%

２）毎日ではないが介護や何らかの関りが必要な親族がいる

正規・嘱託　9.2%　臨時　7.6%

３）別居の親族への介護や何らかの定期的な関りが必要な親族がいる

正規・嘱託　15.4%　臨時　4.8%

合計　正規・嘱託　30.9%　臨時　25.0%

（３）職員研修等

①管理職研修　（ワークライフバランス　小室氏講演動画）

【日　時】5 月 10 日（木）13:30～15:00
【場　所】水口社会福祉センター
【参加者】13 名

②所属長研修

【日　時】　1 月 16 日（水）　①10:00～12:00　②13:30～15:30
【講　師】WLBC 関西　藤本陽子氏、戎多麻枝氏
【場　所】水口社会福祉センター
【参加者】34 名（内 2 名女性活躍推進室）

③甲賀市イクボスセミナー（キックオフセミナー）

【日　時】7 月 5 日（木）13:30～16:20
【場　所】碧水ホール
【参加者】8 名

④内部キーパーソン養成講座

【日　時】7 月 25 日（水）・8 月 29 日（水）・9 月 12 日（水）いずれも 13:00～16:30
【講　師】福井正樹氏
【場　所】忍の里プララ　甲南公民館
【参加者】各講座 5 名

⑤甲賀市ワークライフバランス「事業報告会」

【日　時】2 月 7 日（木）13:30～16:30
【場　所】碧水ホール
【参加者】2 名　事業報告（事例発表・トークセッション）

（４）業務の効率化、合理化

業務効率化シート（業務項目、業務内容、課題、効率化達成状況）を活用して、全部署で取り組み、意識改革や業務改善、合理化を推進した。また、成果をあげた事業所に対して「会長賞」を授与し、顕彰した。

例）終業時間のチャイム、終礼の実施、回覧物の精査、報告書の合理化、定時以降の連絡方法の見直し、時間内での定例会議実施、交代制による昼休みの確保徹底等

３．財源の確保、他

（１）社協会費

社協活動を支える最も大切な自主財源である社協会費は、年々減少傾向にあったが平成30年度も減少が続いている。全世帯、区加入世帯数が前年度よりも増えているが一般会費は前年度比マイナス1.48%、また、賛助会費は前年度比マイナス8.51%で、団体会費についてもマイナス1.23%となった。唯一特別会費のみプラスに転じた。今後も区・自治会を単位とするご近所福祉活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り、会費収納増強につながると考える。

社協会費合計　11,820,650円（前年度12,060,041円　対前年度比マイナス1.98%）

① **一般会費（一世帯700円）**

10,734,650円（前年度比マイナス1.48%）

納付率 50.7%（全世帯）・区加入世帯納付率 70.8%

（18,064世帯分／35,618世帯(全世帯) ・25,506世帯(区加入世帯)

［平成31年3月末現在］

平成29年度

（納付率50.4%　区加入納付率69.6%）

② **賛助会費**（一口3,000円）　240件　931,000円（前年度比マイナス8.51%）

③ **特別会費**（一口5,000円）　15件　75,000円（前年度比プラス15.3%）

④ **団体会費**（一口2,000円）　27件　80,000円（前年度比マイナス1.23%）

《地区別社協会費内訳》

地　域	一般会費		賛助会費		特別会費		団体会費		合計金額(円)
	世帯数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
水　口	7,739	4,874,750	123	477,000	4	20,000	7	16,000	5,387,750
土　山	1,611	972,400	39	149,000	3	15,000	3	6,000	1,142,400
甲　賀	2,248	1,573,250	29	111,000	1	5,000	2	4,000	1,693,250
甲　南	3,867	1,572,900	21	73,000	4	20,000	1	2,000	1,667,900
信　楽	2,599	1,741,350	28	121,000	3	15,000	5	13,000	1,890,350
市全域	0	0	0	0	0	0	9	39,000	39,000
合　計	18,064	10,734,650	240	931,000	15	75,000	27	80,000	11,820,650

（２）地域福祉基金

【本部基金残高】　　12,628,693 円（前年度 12,614,368 円）

（３）補助金委託金の確保

平成 30 年度も市からの社協運営補助金に併せてこうかあんしんネット事業(権利擁護事業)補助を受けることができた。

前年度に引き続き市からのさまざま事業を受託しながら、平成 30 年度からは地域活動支援部が中心に行う「地域力強化推進事業」が 10 月から新規事業として受託され、人件費の確保によりご近所福祉コーディネーターの配置を行った。

また、滋賀県社協からの補助金として、地域福祉権利擁護事業運営費も前年より若干増額が見られた。

（４）善意銀行の運営

①善意銀行の預託・払出状況

（預　入）　【金銭】　74 件　4,483,839 円　【物品】130 件

（払　出）　【金銭】　52 件　2,602,484 円　【物品】130 件

《善意銀行の預託金銭内訳一覧》

地域	件数	金額(円)
水　口	34	2,562,038
土　山	12	193,167
甲　賀	6	443,000
甲　南	20	1,185,634
信　楽	2	100,000
合　計	74	4,483,839

《善意銀行の払出内訳一覧》

種別	払い出し先	件数	金　額(円)
一般	あったかホット事業（生活物資支援事業）	1	79,173
	土山地域福祉活動センター	2	25,000
	甲賀地域福祉活動センター	2	20,000

使途指定	信楽地域福祉活動センター	1	15,000
	こうかあんしんネットセンター	1	50,000
	甲賀市ご近所福祉推進委員会（土山）	1	11,500
	ご近所福祉活動助成事業	9	616,964
	歳末甲南ふれあい交流会	1	30,000
	つちやま福祉作業所	8	1,120,834
	ヘルパーステーションしがらき	1	17,500
	ケアプランセンターそら	1	10,000
	ケアプランセンターしがらき	1	17,500
	碧水荘デイサービスセンター	1	50,000
	デイサービスセンターすこやか荘	1	200,000
	甲賀市社協訪問看護ステーション	1	10,000
	甲賀福祉作業所	3	25,000
	ファミリーサポート事業	1	36,013
	エーデル土山	1	10,000
	豊寿園	1	10,000
	市内子ども食堂	2	135,000
	スマイルきずな	12	113,000
	小　計	51	2,523,311
	合　計	52	2,602,484

（５）契約・入札関係

	見積聴取物品・工事名称	見積提出業者	契約業者
1	甲賀市社会福祉協議会　平成 30 年度新車購入① 甲賀市社会福祉協議会　平成 30 年度新車購入②	9 社 5 社	①中央自工 ②中央自工
2	広報紙「社協こうか」 平成 31 年 1 月～12 月発行にかかる編集・印刷	3 社	近江印刷株式会社

（６）苦情解決

社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、社協内に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図ることとしている。また、以下の苦情内容に対して解決改善を重ね、これらを実効あるものとするための分析と、第三者委員への報告を行いさらに改善に努めた。

① 第三者委員会議

【日　　時】10 月 19 日（金）10：00～11：30

【内　　容】・平成 29 年度 苦情内容説明
　　・第三者委員意見徴収
【場　　所】水口社会福祉センター　中会議室
【出　　席】第三者委員 4 名、会長、局長、次長、法人運営部長、在宅生活支援部長
　　地域活動支援部長、総務課長

② 苦情結果集計（※重複あり）

【苦情件数】47 件
【苦情分類】ケアに関すること（21 件）　制度・施策・法律に関わる要望（2 件）
　　その他（24 件）
【想定要因】説明・情報提供不足（20 件）　職員の態度（18 件）　サービス内容（11 件）
　　その他（6 件）※複数要因あり
【要望内容】改めてほしい（35 件）　話を聞いてほしい（5 件）　回答してほしい（4 件）
　　※複数要望あり
　　※各苦情に対する要望については、丁寧に説明を行い適切な改善に努めた。

（７）役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加

①平成 30 年度新人職員研修

テーマ「社協とは？」

第 1 回
【日　時】4 月 2 日（月）9:40～14：00
【講　師】甲賀市社会福祉協議会　管理職員
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】平成 30 年度新規採用正規職員
【参加者】3 名

第 2 回
【日　時】10 月 25 日（木）8:45～12:00
【講　師】甲賀市社会福祉協議会　管理職員
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】正規・パート新人職員
【参加者】11 名

テーマ「G-Suite 研修」

第 1 回
【日　時】4 月 18 日（水）9:45～12:00
【講　師】法人運営部係長
【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】平成 30 年度新規採用正規・パート職員
【参加者】6 名

第 2 回
【日　時】7 月 11 日（水）9:45～12：00
【講　師】法人運営部係長
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】平成 30 年度新規採用正規・パート職員
【参加者】8 名

第 3 回
【日　時】12 月 10 日（月）9:45～11：45
【講　師】法人運営部係長
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】正規・嘱託・パート職員（平成 30 年度採用）
【参加者】4 名

②メンタルヘルス研修
【日　時】7 月 26 日（木）18:30～20:00
【講　師】産業カウンセラー　溝口 英二氏
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】全職員（パート職員を含む）、自由参加
【参加者】21 名

③救急救命、AED について
【日　時】7 月 3 日（火）9：00～12:00
【講　師】水口消防署
【場　所】甲賀広域消防本部 屋内訓練場
【対　象】全職員（パート職員含む）、サマースクール指導員
【参加者】20 名

④平成 30 年度甲賀市社会福祉協議会職員向けセカンドライフ年金セミナー
【日　時】10 月 16 日（火）13:30～15:30
【講　師】西多社会保険労務士事務所　所長　西多正夫氏
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】（１）年度末に満年齢 58 歳以上に到達する正規職員
（２）60 歳以上 65 歳未満の嘱託職員
【参加者】7 名

⑤人権研修

テーマ「性の多様性から考える『人権』とは？」
～子どもたちとの出会いから見えてきたこと～

【日　時】11 月 28 日（水）①10:00～11:30　②13:30～15:00
【講　師】田中一歩氏、近藤孝子氏（にじいろ i-Ru〈アイル〉）
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】全職員、理事、監事、第三者委員会、甲賀市介護サービス事業者協議会
社協実習生 8 名
【参加者】合計 153 名

テーマ「ふくしマンパワーねっと こうか」人権研修

【日　時】9 月 28 日（金）①14:00～16:00　②18:00～20:00
【講　師】産業カウンセラー　溝口 英二氏
【場　所】水口社会福祉センター
【参加者】ふくしマンパワーねっとこうか登録団体、一般、社協　計 29 名

⑥テーマ「安全運転講習」

【日　時】10 月 22 日（月）①10：00～12:00　②13:30～15:00
【内　容】ドライブシュミレーターによる体験型研修と交通安全の話
【講　師】ＡＭ　甲賀警察署　吉成孝則氏
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】全職員（パート職員含む）
【参加者】136 名

⑦労務管理リーダー研修「有期労働契約で働く職員の無期転換ルールについて」

【日　時】①平成 30 年 2 月 23 日（金）13:30～15:00※平成 30 年度事業として実施
②平成 30 年 4 月 17 日（火）13:30～14:30
【講　師】①西多社会保険労務士事務所　所長　西多正夫氏
②報告研修
【場　所】水口社会福祉センター
【対　象】所属長以上
【参加者】①20 名 ②11 名

《人権研修（外部開催）への参加状況》

参加日	研修名・内容・講師	実施場所	参　加（人）
4.20（金）	甲賀市企業人権啓発推進協総会 特別研修	忍の里プララ	1
5.16（水）	甲賀市新就職者対象人権研修	碧水ホール	2
6.5（火）	採用選考研修会並びに新規学校卒業者対象求人手続き説明会	碧水ホール	1

9.19（水）	甲賀市企業人権啓発推進協議会フォーラム	忍の里プララ	1
10.19(金)	甲賀市企業人権啓発推進協議会フィールドワーク	オムロン京都太陽株式会社他	1
12.3（月）	こうか市民共生ネットワーク人権研修	甲賀市人権教育室	1
12.7（金）	甲賀市企業人権啓発協議会会員対象研修会	忍の里プララ	1
12.9（日）	県民のつどい記念講演	県立文化産業交流会館	1
2.7（木）	滋賀県介護サービス事業所協議会連合会人権研修	栗東芸術文化会館さきら	10
2.9（土）	部落解放研究第 26 回滋賀県集会	県立文化産業交流会館	1
2.12（火）	平成 30 年度事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会	サントピア水口	1

《人権関係外部会議への参加状況》

会議名	参加回数（年間）
甲賀市人権教育推進協議会甲賀支部	4
甲賀市人権教育推進協議会水口支部	4
甲賀市人権教育推進協議会土山支部	3

（８）法人関係会議、行事への参加他

○甲賀市関係等

会議、行事名等	参加者	回数
地域福祉計画審議会	会長	1
甲賀市地域公共交通活性化協議会自動車部会	会長	1
甲賀市あんぜんあんしんなまちづくり市民会議総会	会長	1
甲賀市成人式	会長	1
社会を明るくする運動推進会議	会長	1
社会を明るくする運動メッセージ伝達式	会長	1
同和人権事業促進協議会	会長	1
同和人権事業促進協議会指導委員会	会長	1
同和人権事業促進協議会定期総会	会長	1
子ども子育て応援団会議	会長	2
介護保険運営協議会（介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定）	理事・事務局長	1
甲賀市地域密着型サービス運営委員会	事務局次長・部長	2
甲賀市地域包括支援センター運営協議会	事務局次長・部長	2

○滋賀県関係

会議、行事名等	参加者	回数
滋賀県社会福祉協議会　評議員会	会長	3
市町社会福祉協議会会長会　会長・事務局長合同会議	会長・事務局次長	1
常務理事・事務局長会議	事務局長	1
市町共同募金委員会事務局長会議	事務局長・部長	2
甲賀圏域医療福祉推進会議	事務局次長	1

○関係機関関係

会議、行事名等	参加者	回数
各地区区長会	理事・担当職員	5
滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会	会長・事務局長・事事務局次長・部長	1
NPO 法人甲賀湖南圏域成年後見センターぱんじー総会	会長	1
甲賀市民生委員児童委員協議会連合会総会	会長	1
信楽町民生委員児童委員協議会総会	副会長	1
甲賀市遺族会総会	副会長	1
ゆうゆう甲賀クラブ総会	会長	1
ゆうゆう甲賀クラブ指導者研修会	会長	1
ゆうゆう甲賀クラブ信楽支部大会	副会長	1
ゆうゆう甲賀クラブ女性リーダー研究集会	会長	1
甲南町延寿大会	会長	1
水口町赤十字奉仕団総会	副会長	1
甲賀市赤十字奉仕団総会	会長	1
甲賀町赤十字奉仕団総会	理事	1
甲南町赤十字奉仕団総会	理事	1
信楽町赤十字奉仕団総会	副会長	1
日本赤十字社滋賀県支部評議員会	会長	2
視覚障害者福祉協会総会	会長・事務局次長	1
甲賀市身体障害者更生会総会	副会長	1
甲賀地区更生保護女性会研修	会長	1
滋賀県更生保護女性会第2ブロック研修会	副会長	1
合同運動会	副会長	1
るりこう園秋の大運動会	会長	1
甲賀市ボランティア連絡協議会総会	事務局長	1
甲賀市介護者の会総会	会長	1
サニーサイド文化祭	事務局次長	1
地域生活支援センターしろやま運営協議会	事務局長	1

≪安全衛生委員会の開催≫　　会場：水口社会福祉センター中会議室

実施日	議題	出席
4.10（火）	「女性職員の健康について」、平成 30 年度安全衛生方針について	13
5.10（木）	「五月病について」、文書整理と廃棄	14
6.11（月）	「食中毒について」、ストレスチェック職場評価結果について	13
7.9(月)	「熱中症について」、ストレスチェック職場評価結果について	15
8 月	「スタミナがつく食事・疲労回復を促す食事について」 ※8 月はメールでの意見交換を行った	
9.10(月)	「日常の運動習慣について」、平成 30 年度ストレスチェック実施方法	14
10.10(水)	「ベジファーストからカーボラストへ」	13
11.12(月)	「インフルエンザ感染とワクチンについて」、インフルエンザ予防接種	12
12.10(月)	「血圧について」、インフルエンザ予防接種について	11
1.10（木）	「インフルエンザについて」、ストレスチェック分析について	11
2.12（火）	「アンガーマネジメントについて」、ストレスチェック分析について	11
3.11（月）	「花粉症について」、ストレスチェック分析について	14
3.11（月）	「花粉症について」、ストレスチェック分析について	14

≪交通安全運動の実施≫

①甲社協交通安全無事故無違反運動

【期　　間】10 月 1 日（月）～12 月 15 日（土）

【対　　象】甲賀市社会福祉協議会全事業所（24 事業所）
全職員（正規・嘱託・パート）

【会長賞】17 事業所等（平成 31 年 1 月 4 日（金）授与）

②“4 時からライト”点灯運動の実施

事故防止のため、夕方 4 時からのヘッドライト点灯を啓発

【期　　間】9 月 23 日（日）秋分の日～
平成 31 年 3 月 21 日（木・祝）春分の日

③全国交通安全運動期間における通行車両への安全運転啓発

交通安全のぼり旗による通行車両への啓発（課長級以上）

【期　　間】春の全国交通安全運動　4 月　6 日（金）～15 日（日）
秋の全国交通安全運動　9 月 21 日（金）～30 日（日）

Ⅱ．ご近所福祉でまちづくり

１．甲賀市ご近所福祉推進委員会

【構成】委員１３名（自治振興会、地域福祉協議会、甲賀市民生委員児童委員協議会
ゆうゆう甲賀クラブ、甲賀市赤十字奉仕団連合会、甲賀湖南圏域成年後見センターぱんじー、甲賀市手をつなぐ育成会、甲賀市国際交流協会、障がい者関係機関他）

【会議】2 回　11 月 1 日、3 月 20 日

【内容】第 2 次甲賀市地域福祉活動計画の進捗管理として、推進母体である地域のご近所福祉推進委員会の活動について評価検証、そして甲賀市全体のご近所福祉活動の推進を実施

・本計画の進行管理　・各町地域のご近所福祉推進協議会等の情報交換

・災害にも強い地域づくりプロジェクトの推進、協議

・甲賀市地域福祉大会を活用したご近所福祉活動の啓発推進

２．地域（町）ご近所福祉推進協議会

第 2 次甲賀市地域福祉活動計画に基づく「見守り・支えあい・発見解決」「地域の居場所づくり」、「ふくしネットワーク」「災害に強い地域づくり」の 4 つのプロジェクトを推進するための、地域のニーズや実態に応じ、地域ごとに協議会を設置した。協議会のメンバーは、自治振興課会や区自治会や各分野で活動をされている方などが集まり、地域の課題解決の取り組む自立した住民活動となるように支援した。

①水口地域ご近所福祉推進協議会

【体　制】7 名（会長及び副会長 2 名　協議員 5 名）（民生委員児童委員協議会、障がい者施設、国際交流団体、NPO 団体、子ども食堂グループ、介護予防ミニサークル、行政）

【会　議】定例会　毎月 1 回　年間 11 回　　その他　役員会（三役会）年間 9 回

【活動内容および成果】

今期は、モデル地区を 2 ヵ所選定し、自治振興会圏域の課題を振興会中心とした関係者や住民が考える場を支援するために、ご近所推進協議会のメンバーが 2 グループに分かれて支援協力した。

○貴生川見守りプロジェクト会議　　年間 9 回参加

目的:地域の中で発生する様々な福祉課題を発見し、災害時だけでなく日常的に「見守り活動」をすすめることによって、誰もが安心した生活をおくることができるよう住民の支えあい活動を取り組む。

・アンケートを実施、集計後、各区の結果を小グループで分析し、地域性の似た地域を 3 つに分けた。その後、3 グループごとにさらにどのようにして各区に活動を落としていけるかの検討も行なった。

・アンケート結果や PJ メンバーの勉強会等を元に「見守り活動の素案」作りを行ない、懇談会で参考資料として活用いただけるものを作成した。

・役員は次年度も継続していただき、各区における「見守り活動」導入まで支援協力していただく。

・アンケート結果や見守り活動の素案などを材料に、来年度は各区での活動を推進していただけるよう PJ メンバーが各区からの相談や懇談会の開催などに協力していくこととなった。

○柏木自治振興会ご近所福祉推進会議　　年間 4 回参加

目的：「防災・減災」をテーマに絞って、各種団体がそれぞれの役割でできること、協働できることを考えて、各区で「防災計画」を立てて取り組む。

・具体的な取り組みをつくり上げるために、住民の防災意識の底上げをし、災害に強いまちづくりを目指す。

・自治振興会で防災計画の「ひな形」を作成された。

・次年度は、ひな形を元に柏木地域の全区で自主防災組織の立ち上げを目指す。また、すでに組織がある地域も機能するものかを検証し、組織の見直しを行なう。

・自主防災組織について検討する際、必ず「平常時」からの見守りについても協議していただくこととなった。

②土山地域ご近所福祉推進協議会

【体　制】8 名（会長及び副会長 2 名　協議員 6 名）（自治振興会、区長会、民生委員児童委員、防災組織、福祉団体、ボランティアグループ当事者団体、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、行政など）

【会　議】コア会議含め　年間 24 回

【活動内容および成果】

初年度は、団体の取り組みなどについて情報交換し、社会資源シートの作成をおこなった。社会資源調査の結果からＫＪ法を用いて課題の整理を行い、土山の暮らしの課題をまとめることができた。

また、協議会として、以下の内容に取り組んだ。

・ご近所福祉フォーラム「土山地域田舎の地域づくりフォーラム」の開催

地域福祉活動計画とそれに基づく取り組みを住民のみなさまに知っていただき、また先進事例の発表の場とし、「情報」提供の場所として開催した。

・広報誌「土山がニコリ」の発行

地域内の各種ボランティア団体の活動状況や、そこで活動する方の生きがいや、活動から得られるものなどを紹介する内容とした広報誌を発行した。

・「土山地域&福祉事業所課題解決ネットワーク研修会」の開催

ふくしマンパワーねっとこうかに加盟している地域内の福祉事業所や民生委員児童委員、自治振興会等の情報交換を行う場を設定した。今後は状況に応じて、地域の課題を検討する場とする。

・拠点整備「土山ボランティアセンター」の充実

様々なボランティア活動者が気軽に集まり、談話や会議ができ、またボランティアを始めたい方が情報を得られる場所としてボランティアセンターの充実を図り、連携を育む場所となるように努めた。

・団体へのアンケート調査

地域で活動する団体を対象にアンケート、ヒアリング、懇談会等を行い、現在の活動における課題を調査し、これからの連携の在り方や課題の解決策を検討した。

③甲賀地域ご近所福祉推進協議会

【体制】13 名（会長及び副会長 2 名　協議員 6 名）

（自治振興会、福祉関係団体、高齢者福祉施設、ボランティアグループ、行政）

【会議】コア会議含め　年間 19 回

【活動内容および成果】

前年度に開催した第 1 回目のフォーラムを受け、地域で新たな活動が発足するなどの動きがある中、今年度は、研修会の実施やふりかえり、アンケートから、さらなる地域課題や地域の思いを引き出すことを意識しながら取り組んだ。中でも、人材育成の面では、ボランティア養成講座の実施を通して、生活支援ボランティアグループが発足に向けて協議を進めることができたことは、次年度にもつながる大きな成果となった。また、協議員として福祉事業所に参画出来た。第 2 回目のフォーラムでは、地域の活動者と福祉事業所等の専門職がともに地域課題について話し合う場を設けることもできた。

2 回目となるフォーラムの実施により、地域の活動者と福祉事業所等の専門職がともに地域課題について話し合う場を設けることができた。

・ニーズ調査（アンケート分析・その他）
・社会資源調査（　〃　）
・生活支援ボランティア養成講座の開催（8～10 月全 4 回実施）とグループ化支援。平成 31 年 4 月発足。
・見守り支えあい研修会～高島市の取組みに学ぶ～の実施（平成 30 年 9 月）
・上記研修会ふりかえり会の実施（H30 年 10 月）
・第 2 回甲賀地域ご近所福祉フォーラムの開催（平成 31 年 2 月 17 日）
（甲賀地域での住民活動事例発表とグループトーク）

④甲南地域ご近所福祉推進協議会

【体制】12 名　（会長及び副会長 3 名　協議員 9）（民生委員児童委員、区役員、地域福祉協議会、ボランティアグループ、おたっしゃ広場関係者、当事者団体、行政）

【定例会議】年間 10 回　　（役員会　年間 11 回）

【活動内容および成果】

地域の課題把握や今後の方向性を協議

・地域活動者 85 団体にアンケート調査の実施、集計、分析
・外出支援についての視察研修

くつき外出支援サポート	10 月 15 日	参加 22 名
ちょこっとサポ―トみその	1 月 21 日	参加　7 名

・つなげる交流会の開催　　1 月 27 日　参加 73 名

アンケート調査を実施したことにより、地域の活動者の現状・課題を把握。また、それを進

進協議会内にとどめるのではなく、地域の活動者へ報告し、課題を共有する場づくりを行った。また、交流会を開催することにより活動者のつながりの一歩となった。

【その他】研修への参加や甲賀地域福祉フォーラム、信楽ネットワークフォーラム、区・自治会福祉懇談会参加

⑤信楽地域ご近所福祉推進協議会（信楽地域見守りネットワーク活動推進員会）

【体制】20 名（委員長及び副委員長 2 名　委員 18 名）

（区長、自治振興会、区健康福祉会、民生委員児童委員、福祉団体、当事者団体、障がい者団体、行政）・・平成 26 年 4 月に信楽地域見守りネットワーク活動推進員会として発足

【会議】年間 12 回

【活動内容および成果】

信楽地域内の子ども・子育て家庭・障がい者・高齢者等で日常的な見守りの必要な世帯の孤立化を予防するとともに、生活上の困りごとや緊急事態を早期に発見する見守りの仕組みづくりを各区・健康福祉会等の小地域単位で推進することを目的に、信楽地域全町域の推進会議を各区・健康福祉会・自治振興会・各種団体等の代表者の参画を得て設置し協議を進めた。

次年度に向けて、見守り・支えあいの地域づくりをテーマに、「生活支援ボランティア養成講座」を開催。講座終了後は受講生が中心となり、信楽地域で生活支援ボランティアグループ立ち上げに向けた協議を進めている。

・見守り・支えあい活動についての意見交換、協議検討
・各地区・団体等の見守りに関する活動について情報交換
・見守りネットワーク活動情報交換・交流会の開催
・見守り・支えあいフォーラム 2019 in しがらきの開催
・生活支援ボランティア養成講座（4 回連続講座）の開催
・見守りネットワーク活動先進地視察として長浜市余呉地区「元気かい」との交流
・三重県桑名市益生地区社会福祉協議会との交流（視察受け入れ）
・見守り声かけネットワーク活動助成事業の実施他
・広報「社協こうか信楽だより」による情報発信

見守りネットワーク活動に関する情報発信　見守り・支えあい活動取組み紹介
見守り・支えあいフォーラム 2019 in しがらき情報発信

３．甲賀市災害福祉ネットワーク委員会

①災害福祉ネットワーク委員会の設置・活動支援

【設置】平成 29 年 6 月

【構成】委員 6 名（災害福祉ボランティア登録者、区・自治会、自治振興会、地域福祉協議会自主防災会、防災士連絡会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、国際交流協会、※所属は重複

【会議】・毎月１回　定例委員会議（12 回）
・毎月１回　委員長・事務局打ち合わせ（12 回）
【活動】・住民の暮らしと災害時の福祉課題（平常時・警戒時・災害発生時・復旧期・復興期）の整理
・平常時から進める災害福祉の取り組みとネットワークづくり
・事例冊子の作成検討（各地域事例収集）
・委員会活動のための助成金・資金ついての協議（財源と活動内容検討）
・全国各地の災害情報の共有
・災害福祉ボランティアセンター常設化に向けた協議検討・意見交換
・甲賀市との懇談会開催
（危機管理課・社会福祉課・地域コミュニティ推進課・オール甲賀推進室）
・甲賀市災害福祉ボランティアセンター設置運営訓練（市総合防災訓練と同日開催）
【今後】定例委員会議において、「災害」と「福祉」をテーマにしたネットワークづくりと研修会、事例冊子の作成とともに、災害福祉ボランティアセンター機能の常設化をめざして、以下の取り組みを進める。
・災害福祉ネットワーク委員会の推進（市民と関係機関、行政等との拡大会議の開催）
・事例冊子の作成と発行
・視察研修会
・講座・研修会の開催
・災害福祉ボランティア登録者等との研修・訓練の開催（設置運営訓練）
・広報発行
・災害福祉ボランティアセンター常設化

②災害福祉ボランティアセンター（常設設置に向けた協議検討）

平常時からの住民、ボランティア、区・自治会、健康福祉会、関係団体・機関等とのネットワークづくりを進める場（プラットホーム機能）と、災害時の被災者支援活動を円滑に行う仕組みとして、災害福祉ネットワーク委員会との協働による災害福祉ボランティアセンターの常設化について協議し、次年度常設化を行う。

③甲賀市との懇談会

【日時】4 回　平成 30 年　7 月 30 日（月）　　平成 30 年 10 月 22 日（月）
平成 30 年 11 月 28 日（水）　　平成 31 年　1 月 17 日（木）
【内容】「災害」と「福祉」をテーマとした意見交換会
【場所】甲賀市役所、水口社会福祉センター
【参加】計 40 名　災害福祉ネットワーク委員
甲賀市（危機管理課・社会福祉課・地域コミュニティ推進課・オール甲賀推進室）

④甲賀市災害時多言語情報センター設置運営訓練への参画

【日時】平成 31 年 3 月 10 日（日）9：00～12：00
【内容】災害時の外国籍住民への多言語情報センターの設置運営の訓練

【場所】甲賀市役所　別館　101 会議室

⑤2018 年度　災害支援市民ネットワークしが　第 3 回研究会

【日時】平成 30 年 11 月 7 日（水）13：30～16：30

【内容】講演「災害時における生協の活動と他機関の連携」

日本生協連　地域・コミュニティ担当　山田　浩史　氏

事例報告　滋賀県生協同組連合会より

意見交換会

【場所】滋賀県労働福祉セミナー室 6 階（コラボしが 21）

４．ご近所福祉活動の推進

（１）全体での取り組み

各地域福祉活動センターにソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）、ご近所福祉コーディネーターを配置して、ご近所福祉活動の推進支援、個別や地域の課題解決支援に取り組んだ。ソーシャルワーカーはコミュニティとの関わりを通した住民課題を具体的に解決する職員として、関係機関との連携やネットワークづくりなどの推進を行った。

また、地域での見守り支えあい活動を推進するため、モデル地区を指定し、地域福祉活動センターによる重点的な支援活動を実施した。

①子ども食堂開設支援・運営支援

「さみしさ」や「しんどさ」を抱える子どもたちを地域で見守り育てる「子ども食堂」の開催支援を行った。財源は、滋賀の縁創造実践センターより支援を受ける。

滋賀の縁創造実践センターからの助成は 30 年度で終了となるために、31 年以降も活動を継続できるように、そしてそれぞれで抱える課題や情報共有の場として、代表者会議を開催した。

事業運営で最も大きな課題「財源」に対し、地域や地元企業からの支援が得られるように、企業訪問をするなど連絡調整を行った。

また、子ども食堂の開催において、運営面の課題も多いが、食育の面以外に学習の面への支援に対するニーズが高く、食前や食後にボランティアが子どもたちと一緒に宿題をするなど、課題に柔軟に対応した効果的な事業運営となった。この居場所が子どもたちの癒しの場であり、子どもたちの課題が把握でき、相談できる場、解決につなげられる場としての機能を保たれるように支援した。

名　　称	場　　所
夢の学習　水口料理教室	鹿深ホール、綾野小学校
夢の学習　土山料理教室	土山開発センター、各公民館など
夢の学習　甲賀料理教室	各公民館
夢の学習　甲南料理教室	甲南町内公民館・小中学校

夢の学習　信楽料理教室	信楽町内公民館・小中学校
たんぽぽ食堂	伴谷公民館
アモーレ子ども食堂	虫生野会館
かしわぎ「わいわい食堂」	柏木公民館
あやの子ども食堂	あやのみんなの居場所
smile door	虫生野会館
宇川みんなのはなまる食堂	宇川会館
こども食堂サボテン	牛飼公民館、貴生川公民館
みんなの食堂ひとやすみ♫ひとやすみ	名坂公民館
いろどり食堂	岩上公民館
子ども食堂てるてるぼうず	フリースペースＫＡＮＡＭＥ（土山）
スマイル甲賀大原っ子	市営住宅大原団地集会所
ふか輪っこ	深川公民館

○代表者会議の開催

子ども食堂の基本的な目的や方向性、運営について見えてきた課題等の情報交換を行うことで、単独では解決できない課題の解決につながるきっかけづくりや、活動者の発掘と育成支援などを目指して開催した。

【回　数】計５回

【内　容】情報交換、課題の共有、歌プロジェクト、平和堂啓発イベントについて等

【参　加】子ども食堂代表者及びスタッフ、協力企業、甲賀市、滋賀県

○「遊べる・学べる・淡海子ども食堂」第１回実践者研修会（滋賀の縁創造実践センター主催）

【日　時】９月６日（木）13：30～16：00

【内　容】講義「食堂運営のお悩みを知って、次の未来を考えよう」
講師：京都光華女子大学　健康科学部　講師　南　多恵子　氏
実践報告：日野こども食堂／日野子ども食堂　ひまわりカフェ
柏木地区地域福祉協議会／かしわぎ☆わいわい食堂

【場　所】県立長寿社会福祉センター

【参　加】34 名

○「遊べる・学べる・淡海子ども食堂」第２回実践者研修会（滋賀の縁創造実践ｾﾝﾀｰ主催）

【日　時】10 月 15 日（月）13：30～16：00

【内　容】講義「子どもとの関わりについて」
講師：こどもソーシャルワークセンター　代表　幸重忠孝　氏

【場　所】県立長寿社会福祉センター

【参　加】35 名

○市長と語ろう！市民の声でつくる「甲賀のまちづくり」座談会

【日　時】10 月 25 日（木）14：00～15：30

【内　容】子ども食堂代表者と岩永市長との懇談会

【場　所】柏木公民館

【参　加】14 名

（２）水口地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○ご近所福祉研修会（見守り支えあい研修）

【日　時】9 月 25 日(月）13:30～15:30

【内　容】研修　テーマ「じぶんのまちをよくするしくみ、考えてみませんか？」

・実践報告／大法寺区健康福祉会

生活支援ボランティア「つなぎの輪」

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】各区区長、民生委員児童委員、健康推進員、サロン担当者等

【参　加】100 名

○ご近所福祉研修会（サロン研修会）

【日　時】12 月 19 日(水）13:30～15:30

【内　容】いきいきサロンスタッフ向け研修・交流会　認知症予防レク体験

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】各区区長、民生委員児童委員、健康推進員、サロン担当者等

【参　加】89 名

②ご近所福祉ネットワーク支援

○地区地域福祉協議会への支援

地区地域福祉協議会と自治振興会の福祉部会が一体となったご近所福祉活動の推進を目指し、日頃から自治振興会の活動にも参加し学区単位で見守り支えあい活動が取り組まれるように支援協力を行った。役員が 1 年交代であるため、見守りに特化した活動は少ないが、高齢者支援としての「ひとり暮らし高齢者のつどい」については、地区地域福祉協議会の事業としてではなく、住民主体事業に移行しつつある。

その他には、関係者が集まり地域の福祉課題のための懇談会を開催している地域も多い。

・ひとり暮らしのつどい支援

［水　口地区］　参加 50 名　11 月 16 日（金）

［岩　上地区］　参加 27 名　11 月 11 日（日）

［綾　野地区］　参加 71 名　11 月 10 日（土）

［伴　谷地区］　参加 54 名　10 月 27 日（土）

［柏　木地区］　参加 33 名　11 月 10 日（土）

［貴生川地区］　参加 38 名　10 月 22 日（月）

・関係機関のネットワーク会議

綾野地区「綾野学区まちづくり大交流会」

【日　時】4 月 14 日（土）10:30～12:30

【場　所】鹿深ホール

【内　容】各種団体の活動からのプレゼンテーション

【参加者】行政、区長会、消防団、民生委員、近隣福祉施設、夢の学習、社協他 25 名

綾野地区「あやねっとワーク会議～「防災」「支えあい」円卓会議～」

【日　時】計４回　6 月 25 日（月）7 月 26 日（木）10 月 25 日（木）11 月 29 日（木）

【場　所】鹿深ホール、あいこうか市民ホール

【内　容】テーマに合わせた各種団体ごとの活動報告、グループワークなど

【参加者】区長会、民生委員児童委員、行政、消防団、水口地域包括支援ｾﾝﾀｰ

柏木地区「かしわぎ自治振興会ご近所福祉推進会議」

【日　時】計４回　7 月 17 日（火）9 月 19 日（水）11 月 28 日（水）12 月 21 日（金）
４回

【場　所】柏木公民館

【内　容】柏木地域の各種団体による活動報告、グループワークなど

【参加者】自治振興会、区長会、民生委員児童委員、日赤奉仕団、更生保護女性会、消防団、第二層協議体委員、他

貴生川地区「貴生川地域見守り活動推進プロジェクト会議」

【日　時】９回　6 月 19 日（火）　7 月 15 日（日）　7 月 24 日（火）8 月 21 日（火）
9 月 18 日（火）11 月 20 日（火）12 月 18 日（火）1 月 22 日（火）
2 月 19 日（火）

【場　所】貴生川公民館

【内　容】見守り活動についての協議、アンケート実施、研修会開催、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸなど

【参加者】自治振興会、区長会、民生委員児童委員、健康推進員、第二層協議体委他

貴生川地区「貴生川学区学校地域連携協議会」

【日　時】３回　5 月 15 日（火）　10 月 19 日（金）12 月 15 日（土）

【場　所】貴生川小学校

【内　容】学校支援ボランティア、子ども食堂、夕やけ教室についてなど

【参加者】自治振興会、区長会、小学校長、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育後援会、民生委員児童委員、主任児童委員、PTA、他

③自治振興会活動支援

地域福祉の推進を目指し、自治振興会との連携を図るとともに、地区地域福祉協議会の

活動は、概ね自治振興会の福祉部門の活動として引き継がれているため、自治振興会役員会や部会、総会などに参加し、支援を行った。

④ご近所福祉活動推進・支援

○地域活動支援

【内　容】区・自治区で開催される敬老会・夏まつり等のイベントへ出演者コーディネート

○ふれあいいきいきサロン活動支援

【対　　象】65 ヵ所

【内　　容】サロンスタッフのための講座や情報交換会の開催、当日使用するレクリエー ション用品の貸し出し

⑤モデル地区支援

○山手区見守り会議

【開　催】3 回　　他 3 役会　3 回

【内　容】見守り会議の区民へ周知と情報交換, 地域で気になる方の情報交換等

【参　加】区長、区三役、組長、民生委員児童委員、健康推進員

○大法寺区　見守り会議

【開催日】計 5 回　　他役員会 3 回）

【内　容】地域で気になる方の情報交換、個別計画作成についてなど

【参　加】新旧区長、副区長、防災隊長、民生委員児童委員、健康推進員、むつみ会（老人クラブ）

（３）土山地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○福祉推進員研修

【日　時】6 月 2 日（土）9:30～11:30

【内　容】福祉推進員の役割、情報交換

【場　所】老人福祉センターフィランソ土山

【参　加】16 名　（福祉推進員、土山地域包括支援センター）

○サロンスタッフ研修

【日　時】3 月 2 日（土）9:30～11:30

【内　容】サロン活動紹介（うちのサロン自慢＆小物づくり紹介）

【場　所】老人福祉センターフィランソ土山

【参　加】35 名　（民生委員児童委員、福祉推進員、サロンスタッフ）

②自治振興会支援

［大 野 学 区 自 治 振 興 会］　総会（1）　会議(1)　行事(1)
［土 山 学 区 自 治 振 興 会］　地域福祉部会議(4)　研修(1)　行事（2）その他会議（1）
［はばたけ鮎河自治振興会］　敬老会（1）

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援事業

【内　容】ご近所福祉活動の拠点として、地域の見守り支えあい活動がいつまでも地域の仲間とともに生きがいを持って、安心して過ごしてもらうことを目的に、サロン活動を支援する。
サロンの実態把握、地域課題の把握（困りごとの聞き取り）福祉情報提供など
サロンの見学、参加（センターだよりの取材含む)、情報提供など

【回　数】見学　　２４箇所

○地区福祉懇談会および地域活動支援

【対　象】住民（民生委員児童委員・福祉推進員・ゆうゆう甲賀クラブなど）
【参　加】5 地区(西野区、東野区、野上野区、市場区、北西区)
【開　催】7 回

④居場所づくり

○障がい者の居場所開催　「つちやまおいでおいで」開催

【趣　旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・居場所づくりを通して、地域の方の障がいに対する理解やつながりをつくる。
【開催日】年 12 回　毎月第 3 土曜日　11:30～15:00
【内　容】おしゃべり、ゲームなど
【場　所】土山町内の空き家
【参　加】延べ人数 360 名（手をつなぐ育成会、民生委員児童委員、施設職員、ボランティアなど)

○「おいでスマイル」

【趣　旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・お昼ご飯づくりなどを通して、楽しさや生きがいをもてる居場所とする。
【開催日】年 12 回　毎月第 1 土曜日　11:30～15:00
【内　容　昼食づくり、ゲーム、おしゃべりなど
【場　所】土山町内の空き家
【参　加】延べ人数 180 名

○障がい児の居場所開催　「おいでおいでサマー、ウインター、スプリング」

【趣　旨】障がい児の長期休暇中の仲間づくり・居場所づくりを通して、地域の方

の障がいに対する理解やつながりをつくる。

【開催日】年4回　8月17日（金）8月27日（月）12月25日(火)　3月26日(火)

【内　容】ゲーム、保護者懇談会など

【場　所】土山町内の空き家（おいでおいでサロン）

【参　加】延べ人数 63 名（手をつなぐ育成会、民生委員児童委員、ボランティアなど）

○男の居場所開催

【趣　旨】定年退職後の活動のきっかけづくり、生きがいや仲間づくりを目的に男の居場所（料理教室）を開催

【開催日】年3回　6月22日（金）　10月5日(金)　12月14日(金)

【内　容】地元で収穫した野菜や参加者が釣ってきた魚を使った料理づくり

【場　所】土山町内の空き家（おいでおいでサロン）および地域の集会所

【参　加】延べ人数　33名

○世代間交流　まなびの居場所　「グリーンイングリッシュ」(英語を通じて世代間交流)

【趣　旨】 シニアで英語を学びたい人と、外国での生活経験のある子育て中のママがつながって、居場所を実施

【開催日】 年7回（9月からスタート）　13:30～15:30

【内　容】 テキストや雑談からの日常の会話の練習

【場　所】 フィランソ土山

【参　加】 延べ人数　42名

○子どもの居場所「みんなで楽しもうの会」

【趣　旨】学校が終わった後の子どもの遊び場づくり、地域のボランティアや保護者との交流の場

【開催日】年10回　（6月からスタート）　15：30～17:00

【内　容】宿題、おしゃべり、ゲームなど

【場　所】清和会館

【参　加】延べ人数40名

【協力者】民生委員児童委員、ボランティア、保護者など

⑤その他支援活動など

○人権推進協議会土山支部への参加

【内　容】総会、部会議、学習会、研修会

【参　加】年6回

○関係機関等との連携

【内　容】清和会館（運営委員会、納涼祭等）

【参　加】年5回（イベント協力、会議参加等）

（４）甲賀地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○甲賀町健康福祉会（ご近所福祉）研修会

【日　時】5 月 22 日（火）13:30～15:30

【内　容】１）研修『地域で共に生きる～ご近所福祉でまちづくり～』

講師：甲賀地域ご近所福祉推進協議会　会長　中島教芳　氏

２）平成 30 年度地域福祉関係助成について（説明）

【場　所】かふか生涯学習館

【参加者】52 人（区長・健康福祉会・民生委員児童委員）

○生活支援ボランティア養成講座　　計４回

【日時内容】 8 月 21 日（火）「甲賀地域の現状と課題」

9 月 18 日（火）「実践グループに学ぶ」

10 月 2 日（火）「高齢者・障がい者・支援の必要な方の暮らし」

10 月 16 日（火）「まとめ」「交流会」

【講　師】甲賀地域包括支援センター、ヘルパーステーションこうか、甲賀荘ケアマネジャー、土山生活支援ボランティアつなぎの輪、甲賀湖南成年後見センターぱんじー、甲賀地域ご近所福祉推進協議会

【場　所】かふか生涯学習館、甲賀保健センター

【参　加】受講生 19 人（延べ 45 人）

②ご近所福祉ネットワーク支援

○大原自治振興会見守りプロジェクト視察研修企画支援

○大原自治振興会見守りプロジェクト子ども食堂立ち上げ支援

○大原自治振興会円卓会議への参画

○大原自治振興会サロンスタッフ研修会

【日　時】6 月 30 日（土）13:30～16:00

【場　所】かふか生涯学習館

【内　容】「ぬくもり喫茶牧の里」を映像にて紹介・説明など

【参　加】35 人

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン推進支援活動

サロンへの訪問、地域サロンの運営支援、情報交換など

○（子ども食堂）立ち上げ支援「スマイル甲賀 大原っ子」

開設に向けた具体的検討、助成金申請支援など

④甲賀地区社協（基金運営委員会）活動

○甲賀地区社協（基金運営委員会）の開催　地域福祉基金

【開催日】6 月 28 日（木）、8 月 23 日（木）、3 月 28 日（木）

【内　容】基金の運営方針と運用について
地区社協の役割と今後の方針について

⑤その他支援活動など

○人権推進協議会甲賀支部への参加

【内　容】総会、部会会議、人権文化創造のまちづくりをめざすつどい

【参　加】年 4 回

○地域福祉組織化助成事業　地域福祉基金

【趣　旨】甲賀地域の福祉向上のため、区・自治会の「健康福祉会」活動へ助成を行う。

【対　象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会

【助成額】30,000 円

【実　績】23 件（櫟野、神、大原上田、大久保、大原中、拝坂、鳥居野、相模、大原市場、高野、油日、上野、鹿深台、田堵野、滝、毛枚、和田、高嶺、五反田、小佐治、神保、隠岐、岩室）

○福祉関係団体助成事業　地域福祉基金

【趣　旨】甲賀地域の福祉向上のため、甲賀町内を拠点に活動する福祉関係団体が行う主体的な活動に対して助成

【対　象】甲賀町内を拠点に活動する福祉団体

【助成額】地区社協(基金運営)にて決定する

【実　績】団体（ゆうゆう甲賀クラブ・身体障害者更生会・更生保護女性会・赤十字奉仕団・ボランティアグループささえ愛・ほのぼのグループ・民生委員児童委員協議会）

⑥その他支援活動など

○甲賀荘地域密着型介護サービス運営推進会議への参加（年 6 回）

（５）甲南地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○民生委員児童委員と甲南地域の全ケアマネジャーとの連携会議の開催

【日　時】7 月 12 日（木）13：30～16:00

【内　容】１）講演「認知症の方への接し方について」
講師　グループホームせせらぎ　管理者　坪川拓巳　氏
２）「地域と専門職との連携・日常的な見守り」
【場　所】甲南公民館　大会議室
【参加者】民生委員児童委員、甲南地域のケアマネジャー、甲南地域包括支援センター社協　計 60 名

②ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン運営支援
【対　象】おたっしゃ広場　40 か所
【内　容】おたっしゃ広場の活動・運営相談支援、物品の貸し出し
おたっしゃ広場イベント時の主催者の相談及び支援

○子育てサロンの運営支援
【対　象】子育てサロン　6 か所
【内　容】子育てサロンの新規開設活動・運営支援・おもちゃ等の貸し出し
助成金申請支援等

○障がい児者の居場所づくり支援
【対　象】スマイルきずなサロン
【内　容】運営に関する相談・支援、サロン開催の調整

○地域の居場所づくり支援
【対　象】耕心区、ニューポリス区、新治区、希望ヶ丘本町区・希望ヶ丘区
【内　容】地域福祉活動計画のプロジェクトに沿い、住民同士が交流し、お互いの顔が見える居場所づくりとして交流喫茶サロン活動の運営支援

○地区福祉懇談会、講座等
【対　象】区役員・民生委員児童委員、延寿会など
【参　加】9 か所、20 回参加
【開催地区】（深川区地域福祉推進協議会、竜法師区地域福祉推進協議会、耕心区、池田団地区、市原区、上野川区、ニューポリスまちづくり委員会、希望ケ丘高齢部、甲南町延寿会女性部会）
【内　容】福祉懇談会、福祉サポート会議、地区高齢部を対象に見守り・支えあい活動や防災についての講座、話題提供を行う。

○救急医療情報キット（命のバトン）配布事業　地域福祉基金
甲南地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーを併せて甲南町民生委員児

童委員協議会との共催により配布を実施した。

【対 象 者】希望する全ての世帯独居高齢者、高齢者世帯、障がい者、その他区・健康福祉会が必要と認めた世帯
【配布方法】各区の区組織、自治振興会、健康福祉会が民生委員児童委員と連絡調整の上配布
【配 布 数】累計配布数 3,655 セット（甲南地域世帯数 6,629）

○滋賀の縁創造実践センター「フリースペースせせらぎ」への運営支援・ボランティアコーディネート
【趣　旨】さまざまな事情から家庭のなかに安らぎがない、また、子どもらしく大人に甘えることができない状況にある子どもを地域の社会福祉施設を拠点に、信頼できる大人と過ごせる夜の居場所づくりとして取り組む
【内　容】対象児童の学校のコアケース会議参加、毎週のボランティアコーディネー ト、施設ＳＷとの連絡調整、ボランティア会議
【回　数】ボランティアコーディネート（毎月）、ボランティア会議 1 回、コアケース会議 1 回

○看護小規模多機能型在宅介護「そまの音」運営推進会議への参加
【日　時】 3 回　7 月 25 日（水）9 月 28 日（金）3 月 28 日（木）
【内　容】 看護小規模多機能型居宅介護事業所について
地域とのつながりづくりについて（運営推進員の追加等）
【対　象】 そまの音職員、利用者家族、区長、民生委員児童委員、甲南地域包括支援センター、社協

（６）信楽地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○信楽地域生活支援ボランティア養成講座（連続講座）の開催
【日時・内容】10 月 28 日（日）「創年期を楽しく」（公開講座）
11 月 1 日（木）「高齢者・障がい者・地域の様子」
11 月 15 日（木）「傾聴ボランティアグループ」「生活支援ボランティアグループ」の取り組みから学ぶ
11 月 29 日（木）「自分たちでできることを考えてみよう」
【場　所】紫香楽ヴィラ（10 月）、谷川会館
【参　加】23 名

○信楽地域ご近所福祉研修会の開催
【日　時】10 月 28 日（日）
【内　容】しがらきボランティアまつり合同開催
（信楽地域生活支援ボランティア養成講座・信楽地域ご近所福祉研修会）

「創年期を楽しく！」
余暇生活開発士　生涯学習インストラクター　楠亀　清司　氏
【場　所】紫香楽ヴィラ
【参　加】80 名

②ご近所福祉ネットワーク支援

○各区、健康福祉会、自治振興会等　見守り・支えあい活動支援
【内　容】見守り会議、生活支援活動（買い物・移送等）検討・視察研修、福祉懇談他

支援先	内容	支援回数
多羅尾見守り安心の輪	見守り会議等	2
勅旨区健康福祉会	全体会議、小会議、世代間交流	１５
牧区健康福祉会	全体会議、見守り訪問会議等	5
西健康福祉会	見守り会議等	5
神山区見守りネットワーク会議	見守り会議等	1
長野区	見守り会議等	1
丸岡区	住民福祉懇談会	2
杉山見守りネットワーク	見守り会議等	4
ほそはら見守りの会	見守り会議等	7
しがらきニュータウン区	見守り活動の検討他	2
下朝宮区	住民福祉懇談会他	2

○見守り・声かけネットワーク活動助成事業　地域福祉基金
【趣　旨】信楽地域において見守りネットワーク活動を推進するため、信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会が信楽地域福祉基金により助成を行う。
【対　象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会。
【助成額】区あたり 20,000 円+戸数×100 円×3 年
【実　績】9 地区（神山、江田、牧、西、柞原、中野、杉山、上朝宮、宮尻）総額 315,000 円

○見守りネットワーク活動情報交換・交流会の開催
【日　時】6 月 29 日（金）13:30～15:30
【内　容】見守りネットワーク活動に取り組まれているサポーターや、これから取り組もうとされている地域の方との意見・情報交換と交流
【会　場】信楽開発センター　大集会室
【参加者】66 名

○見守り・支えあいフォーラム 2019 in しがらきの開催
【日　時】2 月 23 日（土）13:30～16:00
【内　容】○実践報告
進行・コーディネーター：志藤　修史　氏

実践報告者：

①居場所トーク：勅旨区健康福祉会　　大西 美代子氏　宇田　ルリ子氏

徳源寺（下朝宮区）　西山　綾瀬氏

②見守りトーク：中野見守りネットワーク　中西富美子氏　中西紀代子氏

ながの自治振興会　　奥田　勝美氏

③支えあいの仕組みづくり、はじめの一歩：黄瀬　聖師氏　宇田ルリ子氏

（信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会）

〇認知症脳トレ体操　勅旨区脳トレ体操ボランティアスタッフの皆さま

〇まとめのディスカッション

【会　場】滋賀県立陶芸の森　信楽ホール

【参加者】244 名

③ご近所福祉活動推進・支援

〇ふれあいいきいきサロン活動支援事業

子育てサロン、障がい者サロン、高齢者サロンの活動内容等について、各地区福祉推進員やボランティア、当事者の相談に対応した。

〇救急医療情報キット（命のバトン・マグネットホルダー）配布事業　地域福祉基金

信楽地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、信楽町民生委員児童委員協議会との共催、信楽町区長会の協賛により、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーの配布を実施した。

・命のバトン配布事業に関する先進地視察受け入れ・研修会への派遣

・栗東市民児協　・静岡県天城地区民児協　・長浜市湖北地区民児協

・福井県大野地区民児協　・近江八幡市安土地区民児協　・彦根市稲枝地区民児協

《信楽地域福祉基金運営事業》

〇基金助成金事業　地域福祉基金

【趣　旨】信楽地域の福祉向上のため、区・自治会の「健康福祉会」活動へ助成

【対　象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会

【助成額】区あたり 40,000 円+戸数×250 円

【実　績】１地区（しがらきニュータウン）　総額 81,000 円

④その他支援活動など

《社会的ひきこもり当事者支援活動》

〇信楽だんだん畑（本人活動）

【趣　旨】社会的ひきこもりの状態にある若者の仲間づくり・居場所づくり・することづくりを通して、自分の目標に向かう一歩を踏み出す機会とする。

【開催日】毎月第２・４火曜日　10:00～12:00

【内　容】今後に向けての話し合いや発達障がいや趣味、好きなことについての情報交換、野菜作り、広報発送準備などの事務作業他

（滋賀県引きこもり支援センター、支援センターしろやま等専門機関と連携）

【場　所】信楽地域市民センター、信楽開発センター、畑（牧地区）
【対象者】4名
【協力者】民生委員児童委員、主任児童委員など

○滋賀の縁創造実践センター「ひきこもり等の支援」甲賀・湖南ひきこもり支援『奏―かなで―』運営会議
【趣　旨】人とのつながりをもちづらい方や、ひきこもりがちな暮らしをしている方、その家族に、「現行の福祉サービスでは届けられない支援を届ける」ことを目指し、地域の支援関係者とともに取り組みをすすめる。
【内　容】アウトリーチ奏サロン部会・家族支援部会・地域啓発交流部会からの報告および情報共有、公開講座企画・実施等
【回　数】7回

（7）生活支援体制整備事業

各地域福祉活動センターに第2層生活支援コーディネーター（5名）と、地域活動支援課に第1層生活支援コーディネーター（1名）を配置し、各地域に第2層協議体（5か所）を設置して、活動支援を実施するとともに、住民主体のご近所福祉活動の推進支援を行うことにより、支援を要する高齢者に対する見守り・支えあいによる暮らしの困りごとの解決支援や、高齢者自身による活動の場を提案し「すること」「いる場所」「仲間」づくりによる生きがいづくりを進めた。

【活動件数】1,863回（平成29年度1,116回）
【総稼働時間】3,132時間55分（平成29年度2,006時間55分）

①生活支援・個別支援ボランティア活動への展開

1）生活支援ボランティア活動支援
【グループ名】生活支援ボランティア「すぷーん」
【内　　容】甲南町内在宅高齢者等への初回訪問同行、依頼者や関係機関との活動調整、事務的支援　等

【グループ名】生活支援ボランティア「つなぎの輪」
【内　　容】土山町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの窓口業務、活動調整、関係機関との連携、事務的支援、初回訪問時の同行など

【グループ名】生活支援ボランティアにんにんおたすけ隊
【内　　容】グループ発足に向けた立ち上げ支援（検討会議の実施、事務的支援等）

【グループ名】生活支援ボランティア“ほっと”
【内　　容】信楽町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの立ち上げ支援

2）傾聴ボランティアグループ活動支援
【グループ名】よりそい

【内　　容】甲賀市内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ、学習会開催、訪問調整
【調　　整】訪問日程等連絡調整　　207 件
新規申し込み・中止手続き　11 件
【グループ名】ほほえみ
【内　　容】土山町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

【グループ名】傾聴ボランティアグループ「あい・あい」
【内　　容】水口町内在住高齢者等への傾聴ボランティア打ち合わせ、訪問調整
【調　　整】訪問日数　105 回
新規申し込み　6 名

【グループ名】傾聴ボランティアつながり会ビーズ
【内　　容】甲賀町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

（８）地域力強化推進事業（我が事・丸ごとの地域づくり）

各地域福祉活動センターにご近所福祉コーディネーターと、地域活動支援課に担当職員を配置し、誰もが役割を持ち、孤立しない「地域共生社会」の実現に向けたまちづくりを進めるとともに、福祉制度の狭間を作らない新たな仕掛けを創出することにより、地域の多様な主体による協働の仕組みづくりを進めた。

①ご近所福祉推進協議会	地区	人数	回数	延べ人数
・役員会議	5	35	45	239
・定例会議	5	164	58	1,850
・研修会（フォーラム、交流会等）	5	609	8	1,198
・視察研修（協議員の研修）	4	68	5	78
・広報（広報紙、FB 等）	3	7,400	6	7,400
・その他（アンケート調査）	4	172	4	219
・その他（外部会議参加）	1	312	14	4,368
②地域福祉大会（我が事・丸ごとサミット）	1	268	1	268
③生活支援ボランティア養成講座				
・甲賀地域	1	19	4	59
・信楽地域	1	23	6	158
地域の居場所（たまり場）での相談窓口開催	5	20	1	20

ご近所福祉コーディネーターの設置（地区５名、市全域１名）	6	1	1	6

５．地域活動推進助成事業

（１）ご近所福祉活動助成

（共配）（社協会費）（善意銀行）

【趣　　旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、区・自治会単位で住民が主体的に実施する見守りや支えあい活動、ふれあいいきいきサロン活動等を推進するため、自治会や地域福祉組織が行う主体的な活動について助成を行う。

【助成対象】健康福祉会、区・自治会、地域福祉推進協議会など

【助 成 額】前年度の社協会費・赤い羽根共同募金取りまとめ額に２割を乗じた額に均等割り5,000円を加算した額を限度とする。

【助成実績】168件　4,216,000円

ご近所福祉活動助成一覧（地域別）

地　域	30年度		29年度		28年度	
	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)
水　口	74	1,852,000	71	1,753,000	75	1,865,000
土　山	29	448,000	29	436,000	31	501,000
甲　賀	23	672,000	23	677,000	23	684,000
甲　南	25	744,000	25	764,000	25	791,000
信　楽	17	500,000	17	544,000	16	523,000
計	168	4,216,000	165	4,174,000	170	4,364,000

（２）ふれあいいきいきサロン支援・助成事業

○ふれあいいきいきサロン活動助成　（共配）（社協会費）（善意銀行）

【趣　　旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、地域住民が主体的に開催するふれあいいきいきサロン事業に対して助成を行う。

【助成対象】家で閉じこもりがちな支援を必要とする人を対象に住民同士の見守りと支えあいを目的として継続的に実施される地域の中の居場所づくり活動に対して助成

【助 成 額】年12回以上の開催サロンに年額24,000円
年６回以上の開催サロンに年額12,000円

【助成実績】185カ所　2,957回　4,020,000円
（H29＝182カ所　2,840回　3,948,000円）
（H28＝183カ所　2,870回　3,996,000円）
（H27＝172カ所　2,563回　3,744,000円）

ふれあいいきいきサロン助成内訳（地域別）

地　域	地域サロン数	参加対象（重複あり）			サロン開催回数	助成額（円）
		高齢者	誰でも	子ども		
水　口	68	46	21	1	1,295	1,476,000
土　山	26	25	1	1	306	516,000
甲　賀	25	22	3	0	348	552,000
甲　南	44	37	3	4	535	984,000
信　楽	22	22	0	0	473	492,000
計	185	152	28	6	2,957	4,020,000

○広域ふれあいいきいきサロン活動助成

（共配）

助成対象団体	助成サロン数	総金額（円）
みんなくる会、広域サロンおいでおいで、信楽つどいの会、子育てサロン ナッポ､金曜会､ふれあいのつどいグループ架け橋、ほのぼのグループ、かしわぎサロン「ナイン」、スギッチャマン、のびのび会、子育て広場わのわのわ、喫茶ダイヤモンド倶楽部、あくてぃふ紫香楽、ボランティアグループささえ愛	14	312,000
合　　計	14	312,000

（３）ボランティアグループ助成事業

○ボランティアグループ活動助成金

（共配）

助成対象団体	助成ボランティアグループ数	総金額(円)
つながり会ビーズ	1	7,000
合　　計	1	7,000

６．当事者支援

（１）子育て支援

○子ども・子育て応援団ネットワーク（水口地域会議）・・年３回

【参　　加】水口子育て支援センター、包括支援センター、水口西保育園、水口民生委員児童委員、主任児童委員、チアーズステーション、アプリコット、社協

【内　　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、

○土山地域子育て支援ネットワーク会議

【参　　加】土山子育て支援センター、土山にこにこ園、大野保育園、主任児童委員、民生委員児童委員、子育てグループ、保健センター、鹿深ホール、社協
【内　　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、および、地域一丸となって支援できるシステム構築の検討

○子育てサロンの運営支援（甲南地区）
寺庄、ニューポリス、宮学区、第二学区、耕心、希望ケ丘、野田の７カ所

○甲南地域子育て支援ネットワーク会議（甲南地区）
【参　　加】子育て支援センター、子ども応援課、甲南幼稚園、甲南のぞみ保育園、各保育園６園、主任児童委員、民生委員児童委員、放課後児童クラブ、社協
【内　　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、および、地域一丸となって支援できるシステム構築の検討、子育てに関するボランティアのコーディネート、子育てサロン開設支援

○子どもに関わるネットワーク会議
【参　　加】甲南第一小学校、民生委員児童委員、フリースペースせせらぎ、スクールガード、社協
【内　　容】気になる児童の対応と見守りについて（長期休暇中）
連絡体制の確認と共有

○地域子育てサロンへの支援（信楽地区）
【参　　加】信楽地域の未就園児とその保護者
長野子育てサロン、神山・江田子育てひろば、雲井子育てサロン、小原子育てサロン、朝宮子育てサロン
【内　　容】自由遊び、情報交換、交流、研修会など
【スタッフ】おもちゃライブラリー・主任児童委員・民生委員児童委員・福祉推進員

○話そうサロンママの輪（信楽地区）・・年３回
【参　　加】子育てサロン代表者、子育て支援センター、主任児童委員、社協
【内　　容】情報交換

○信楽地域子育て支援ネットワーク会議（信楽地区）
【参　　加】信楽子育て支援センター、信楽地域包括支援センター、子育て世代包括援センター、信楽中央公民館、信楽にこにこ園、明照保育園、雲井保育園、朝宮保育園、主任児童委員、民生委員児童委員、たけのこ児童館、社協
【内　　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換および地域一丸となって支援できるシステム構築の検討
【回　　数】１回

（２）ひとり暮らし高齢者支援

（共配）

①ひとり暮らし高齢者実態調査・命のバトン配付・見守り

【目　的】市内に在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯が安心して暮らせる健康福祉のまちづくりをめざし、安否確認、実態把握調査をするとともに救急など非常時に備える。

【内　容】市内のひとり暮らし高齢者世帯へ、民生委員児童委員が訪問し、調査を行い、希望者に救急情報用紙の入った「命のバトン」を配付する。

【対象者】甲賀市内に住む 65 歳以上のひとり暮らし高齢者

【協　力】甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市内　65 歳以上ひとり暮らし世帯実態数（平成 30 年 9 月 1 日現在）

地　域	実　態　世　帯　数						
	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度	24 年度
水 口	888	882	839	821	771	704	644
土 山	225	207	207	235	191	172	170
甲 賀	258	256	230	259	261	214	198
甲 南	488	449	407	390	355	342	352
信 楽	482	460	472	439	374	276	281
合計	2,341	2,254	2,155	2,144	1,952	1,708	1,645

②ひとり暮らし高齢者のつどいの開催・支援

町名	事業名	対象	運営・協力	内容	回数	参加人数	スタッフ数
水口	ひとり暮らし高齢者のつどい	65 歳以上	主催：自治振興会（地域福祉協議会） 協力：社協	学校区（6 か所）単位で開催 講話・工作・お楽しみ芸能・バス外出・みんなで歌おう他	6	135	122
土山	しゃくなげの会	65 歳以上	社協・民生委員児童委員協議会	お出かけ交流会 (三菱 UFJ 貨幣資料館) 交流会（寸劇、介護予防レクリエーション）	2	46	17
甲賀	ひとり暮らし高齢者のつどい	65 歳以上	社協・民生委員児童委員協議会	寸劇、尺八演奏など	2	28	16
信楽	すみれ会	65 歳以上	社協・ボランティア	親睦日帰りバス外出（県立琵琶湖博物館）	1	10	5
合計					11	219	160

（３）障がい者支援等

①つどいの開催　（歳末たすけあい募金配分金事業）

○ふれ愛フェスタ 2018（水口）　（歳末たすけあい募金配分金事業）

【日　時】12 月 8 日（土）10:00～15:00

【内　容】テーマ「みんな　おいでよ　であいに」

ふれ愛発表会、車イスレクダンス、ふれあい交流会、模擬店、バザーなど

【場　所】水口社会福祉センター　全館

【対　象】心身に障がいのある者および障がい者支援団体および一般住民

【参加者】405 名

【その他】実行委員会形式で開催

協力：身体障害者更生会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、障害者作業所（さわらび、サニーサイド、けいかん）、地域生活支援センター（しろやま）、ここねっと、手をつなぐ育成会、甲賀市ボランティア連絡協議会水口支部、更生保護女性会、健康推進員連絡協議会、あいあいクラブ、甲賀市、社協等）

○あすなろのつどい（土山）

【日　時】12 月 8 日（土）9:30～15:00

【内　容】午前　体験コーナー（吹き矢、ボッチャ、展示コーナー、お茶席、模擬店他）

午後　劇、ハンドベル演奏、歌、ビンゴゲーム

【場　所】土山開発センター

【参加者】参加者 237 名

【その他】実行委員会形式で開催

協力（身体障害者更生会、つちやま福祉作業所、民生委員児童委員、健康推進員、赤十字奉仕団、るりこう園　滋賀県障害者福祉センター

○障がい者と家族のつどい（甲賀）

【日　時】12 月 9 日（日）10:00～15:00

【内　容】ダンス鑑賞、もちつき大会、体験コーナー　他

【場　所】かふか生涯学習館

【参加者】53 人（内スタッフ 22 人）

○ふれあい交流会（甲南）

【日　時】12 月 1 日(土）10:00～14：30

【内　容】一言メッセージ・ハンドベル演奏・会食・演劇・ボランティアグループによるマジック・風船バレー・プレゼント配布

【場　所】杉谷公民館

【対　象】甲南町在住で心身に障がいのある者と家族

【参加者】94 名（参加者・スタッフ含む）

【その他】協力：身体障害者更生会・民生委員児童委員・甲賀市ボランティア連絡協議会甲南支部）

○第 17 回ふれ愛クリスマス（信楽）　　（歳末たすけあい募金配分金事業）

【日　時】12 月 16 日（日）　10:30～15:00　　社協 3 名

【内　容】ふれ愛ステージ、模擬店、餅つき、ステージ発表、ハンドベル演奏など

【場　所】紫香楽ヴィラ

【参加者】約 180 名

【その他】実行委員会形式で開催

協力：甲賀市手をつなぐ育成会、甲賀市身体障害者更生会、信楽つどいの会、親友会、信楽青年寮、信楽学園、ワークセンター紫香楽、信楽くるみ作業所、しがらき地域生活支援センター、ふれ愛パーク、甲賀市ボランティア連絡協議会, 民生委員児童委員協議会、ふれ愛キャンプ実行委員会

○第 47 回合同運動会（支援事業）

【日　時】10 月 14 日（日）　10:00～15:00

【場　所】信楽体育館

【参加者】約 300 名

【その他】合同運動会実行委員会で開催

協力：ワークセンター紫香楽、信楽学園、信楽くるみ作業所、信楽青年寮、しがらき地域生活支援センター、信楽つどいの会、親友会、甲賀市手をつなぐ育成会信楽支部、地域福祉活動センター）、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団

○どりぃ夢（障がいのある子どもをもつ親の会）開催支援（信楽）

【開　催】5 月 9 日（水）10:00～11:30、2 月 3 日（日）10:00～12:00

【内　容】保護者の交流、情報交換・情報提供、タイムケア事業についての検討など

【場　所】信楽地域市民センター

【参加者】延べ 10 名　　社協 4 名

②外出支援事業

（市受託）

○対象者数（町別・区分）

町名	対象者数 H30	延利用者数 H30	対象者実数 h29	延利用者数 H29
土山町	10	224	10	202
甲賀町	6	368	9	418
甲南町	10	311	13	338
信楽町	8	111	10	123

合計	34	1,014	42	1,081

7．団体支援

（1）甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○市民生委員児童委員協議会連合会

	内　　容	回数
1	理事会（定例）	12
2	全員研修会（介護予防・予防体操）	1
3	専門部会長会議	1
4	専門部会研修・会議	7
5	理事県外研修	1
6	会計監査会	1
7	総会	1
8	事業計画・予算検討会議	1
9	特別事業（認知症啓発映画会等）	5
計		30

○各町民生委員児童委員協議会

水口	内　　容	回数
1	総務部会	12
2	全員協議会	6
3	総務部会･専門部会合同会議	3
4	地区民生委員児童委員協議会（水口・岩上）	6
5	地区民生委員児童委員協議会（綾野）	6
6	地区民生委員児童委員協議会（柏木）	6
7	地区民生委員児童委員協議会（伴谷）	6
8	地区民生委員児童委員協議会（貴生川）	6
9	各部会別研修	12
10	監査会	1
計		64

土山	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会	12
2	三役会	12
3	各種研修会	1
4	高齢者福祉部活動	2
5	障害者福祉部会　作業所支援	12
6	児童福祉部会活動	2
7	人権研修	2
8	県外視察研修	1
9	ひとり暮らし高齢者等実態調査、他	1
10	広報紙編集発行　2,500 部	8

計	53

甲賀	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会	12
2	専門部会	2
3	広報編集会議	6
4	県外研修	1
5	施設奉仕作業（甲賀荘・かふかの里･鹿深の家）	4
6	高齢者部会活動	3
7	児童部会活動（主任児童委員活動含む）	20
8	生活福祉部会活動	2
9	障がい者福祉部会活動	10
10	人権福祉部会活動	4
11	救急医療情報キット（命のバトン）配布事業	通年
12	ケアマネジャーとの意見交換会	1
13	監査会	1
14	三役会	12
15	広報紙編集発行　3300 部	1
計		76

甲南	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会　会議	12
2	役員会	1
3	日帰り研修	1
4	宿泊研修	1
5	生活福祉部会研修「元気村」	1
6	人権福祉部会研修「茗荷村」	1
7	障がい者福祉部会研修「ワークセンター紫香楽」	1
8	民生委員児童委員とケアマネジャーとの意見交換会	1
9	高齢者福祉部会研修「せせらぎ苑・まごころ」	1
10	広報委員会	5
11	広報発行 3 回	通年
12	広報紙発行・編集　6,600 部	1
13	地域見守りマップ作成支援	通年
14	三役会	12
15	監査会および決算会計事務処理支援	2
計		40

信楽	内　　容	回数
1	全員協議会（総会・各部会研修会）	6
2	役員会（三役会・役員会・役員研修会）	14
3	正副部会長会	1
4	会計監査	1
5	地区民児協（4 地区民児協）	8
6	部会（人権福祉部会）	2
7	県外研修会	1

8	県外・市外民児協交流会	6
9	救急医療情報キット「命のバトン」配布事業	通年
10	街頭啓発活動（啓発用テッシュ、チラシ配布）	1
11	広報紙編集発行　3,900 部	1
計		41

（特別事業）

認知症啓発無料映画会上映

「八重子のハミング」　10 月 30 日（火）忍の里プララ　来場者 512 名

啓発活動　　啓発用オリジナルティッシュの配布

（その他の支援内容）

広報紙発行支援、各委員よりの相談援助、赤ちゃん訪問事業等の支援、事務補助、会計処理補助、各部会の研修企画、定例会を含む会議開催の支援、事務支援

（２）介護者の会

○介護者の会（当事者団体）支援　（全体）

【内　　容】総会、役員会、研修会、交流会、つどい、施設見学など

【開　　催】17 回

【参　　加】延べ 233 名

【広報発行】年１回（編集・配布支援）

○介護者サロン開催支援

町名	開催日 13:30～15:30	内　　容	場　所	回数	参加者数
水口	毎月第 2 火曜日	交流会（意見交換、相談）、施設見学、研修会	水口社会福祉センター	11	97
土山	毎月第 3 水曜日	懇談・相談・リフレッシュ・交流会	フィランソ土山など	12	73
甲賀	毎月第 3 水曜日	懇談・相談・リフレッシュ	かふか生涯学習館	10	82
甲南	毎月第 2 木曜日	懇談・相談・リフレッシュ・茶話会など	甲賀市市民福祉活動センター	12	95
信楽	不定期	情報交換、意見交換、研修会、交流会等	信楽開発センターなど	7	43
認知症介護者	毎月第 1 水曜日	懇談・相談	佐山荘など	11	52
男性介護者	毎月第 1 木曜日	懇談・相談	水口社会福祉センターなど	12	60
合　　計				75	502

（３）その他団体支援

○赤十字奉仕団　　○遺族会　　○身体障害者更生会　　○手をつなぐ育成会
○ゆうゆう甲賀クラブ　○更生保護女性会

８．福祉センター等指定管理事業

（１）社会福祉センター管理・運営事業

①水口社会福祉センター（貸し館状況）　　年間 1,576 団体

・Ｖセンター　延べ利用 343 団体　　・中会議室　　延べ利用 317 団体
・身障研修室　延べ利用 409 団体
・相談室Ａ　　延べ利用 134 団体　　・相談室Ｂ　　延べ利用 373 団体

②甲賀市福祉ホール（指定管理）（貸し館状況）　年間 219 団体

１）利用料免除
・開館日数　359 日　・利用日数　162 日　　・延べ利用団体　176 団体

２）有料
・開館日数　359 日　・利用日数　43 日　　・延べ利用団体　43 団体

（２）老人福祉センター碧水荘（水口）

〈利用者状況〉
【開館日数】年間 244 日
【延べ利用者数】年間　3,645 人※文化祭、文化祭実行委員会は他施設で開催しているため除く。

〈短期教室〉　　2 教室　　開催回数 12 回　　延べ参加人数　　139 名

	教室名	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
1	ハワイアンダンス教室	8 月 21 日 28 日 9 月 11 日 25 日 10 月 2 日 16 日	日本とハワイの歌をアレンジしながらハワイアンダンスを楽しむ教室	6	70
2	俳句教室	8 月 30 日 9 月 13 日 27 日 10 月 11 日 25 日 11 月 8 日	俳句の講義を聴き俳句を自作	6	69
計				12	139

〈自主サークル〉　　16 サークル　　開催回数 323　　延べ参加人数　　3,431 名

	教室名	開催日	内容	開催	延べ参加

				回数	人数
1	水口陶芸	第２・４木曜日	各種陶芸の講義と実習	24	362
2	陶芸　A	第１水曜日	高度の陶芸実習	12	103
3	陶芸　B	第３水・木曜日	高度の陶芸実習	24	153
4	盆栽	第３金曜日	各種園芸の講義と実習	6	23
5	書道	第１金曜日	楷書・行書の練習	12	104
6	茶道	第２・４火曜日	ふくさばきとお盆点	23	222
7	音楽	第１・３月曜日	コーラス・ハンドベル	22	319
8	レクダンス	第１・２・４水曜日	レクダンス	33	545
9	表装	第２・４金曜日	各種表装の実習	22	176
10	将棋	第２・３・４火曜日	将棋の実践と戦い方	35	296
11	デジカメ	第１・３木曜日	デジカメ写真撮影基本	22	238
12	絵手紙	第２・４金曜日	絵手紙の描き方	20	281
13	絵画 A	第２・４水曜日	絵画のデッサン	24	215
14	絵画 B	第１・３水曜日	絵画のデッサン	23	201
15	いけばな	第１木曜日	生け花の活け方	11	107
16	ハワイアンダンス	第１・３月曜日	ハワイアンダンス	10	86
計				323	3,431

〈その他事業〉　　開催回数 33 回　　延べ参加人数 279 名

	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
体験教室	7 月～9 月 ※開催日各サークルで決定	絵手紙, いけばな, 将棋, 絵画 B, 音楽, 陶芸 A, 茶道, レクダンス, 書道	26	27
文化祭	10 月 2 日 3 日	サークル活動発表 作品展示	2	190
代表者会議	4 月 10 日 6 月 26 日 10 月 30 日 2 月 13 日	活動内容の検討等	4	48
文化祭実行委員会	8 月 29 日	文化祭の内容検討等	1	14
計			33	279

（３）老人福祉センターフィランソ土山

〈利用者状況〉

【開館日数】年間 244 日　　【延べ利用者数】年間 6,455 人

〈利用状況〉

○タイムケア事業　　土山町サマースクール　　（年間 7 回）

○ひとり暮らし高齢者活動　　ひとり暮らし高齢者のつどい

○地域の活動の拠点

土山町民生委員児童委員協議会の定例会、研修会、ご近所福祉推進協議会定例会、研修会、ゆうゆうクラブ土山支部、土山学区ゆうゆうクラブ、土山町赤十字奉仕団、

土山町更生保護女性会、土山町遺族会、各サークル、ボランティアグループの活動拠点として、各種研修会の会場として

○ボランティアセンター機能

甲賀社協ボランティアセンターの窓口として位置づけ

○おもちゃ、本などの貸し出し

（４）老人福祉センター佐山荘（甲賀）

〈利用者状況〉（社協事業は除く）

【開館日数】年間 211 日　【延べ利用者数】年間 3,860 人

〈利用状況〉

○高齢者サロン	ささえ愛	第 2･4 月曜日
	にこにこサロン	第 1 火曜日･第３月曜日
○タイムケア事業	甲賀げんきっこスクール	
○余暇支援活動	余暇活動さんりんしゃ	第 3 土曜日
○子育て支援事業	佐山学区子育てサロン	月 1 回
	にじいろすまいる	第 3 火曜日
○介護者サロン	第 3 水曜日　サロンいどばた	第 1 水曜日(隔月)
○ひとり暮らし高齢者活動	ひとり暮らし高齢者のつどい	
○小地域福祉活動	ささえ愛による配食サービス	毎週木曜日

○地域の活動の拠点

佐山学区自治振興会、手をつなぐ育成会、スポーツ少年団、佐山小学校、甲賀北保育園、佐山地区老人クラブ、佐山区長会、町内サロン、各サークルの練習拠点として、各種研修会の会場として

○ボランティアセンター機能

甲賀社協ボランティアセンターのサテライトとして位置づけ

チラシや啓発紙・ポスター掲示など

（５）甲賀市市民福祉活動センター（甲南）

○市社会福祉課、市地域コミュニティ推進室との協議に基づき、施設の管理運営、貸館、機材の貸出、交流スペースの利用促進、印刷機、輪転機、長尺プリンターの利用サービス等を実施

※あいこうか市民活動ボランティアセンターの事業活動については別記載

【開館日数】　244 日　（月～金 8：30～17：30）

【貸室利用】　177 回

【来館者数】　5,148 人（多目的室 3,292 人、交流スペースなど 1,856 人）

○印刷機、輪転機、長尺プリンターの利用

【印刷機、輪転機】　359 件

【長尺プリンター】　348 件

９．甲賀市社協ボランティアセンター事業

（共同募金、社協会費）

（１）福祉ボランティア活動の活性化

① 甲賀市社協ボランティアセンター登録者・グループ数

登録者一覧表 H31.3. 31 現在					
地域	グループ		個人登録	個人・G 総数	登録人数 合計
	G数	人数			
水口	64	1,635	59	123	1,694
土山	19	360	13	32	373
甲賀	30	1,489	9	39	1,498
甲南	47	1,541	39	86	1,580
信楽	29	638	16	45	654
市ＶＣ	48	1,227	2	50	1,229
（内）災害Ｖ	－	－	(108)	－	(108)
合計	237	6,890	138	375	7,028

②ボランティアコーディネート

《主なコーディネート内容》

福祉ボランティアコーディネート、ボランティア活動（志望）者相談、福祉施設ボランティア、福祉学習コーディネートなど。

（※実績数は、総合相談事業「福祉なんでも相談」に集計）

１）水口地域

広野台お助け隊活動支援、生活支援ボランティアちょこっとお助け隊活動支援、うさぎのミミ活動支援、みんなくる会活動支援、サロンまなび活動支援、傾聴ボランティアグループ「あい・あい」活動支援、地域行事、福祉施設へのボランティアコーディネート

２）土山地域

サロン・地域行事等へのボランティアコーディネート、ふみグループ活動支援、ほほえみ会活動支援、生活支援ボランティアつなぎの輪事務的支援、個人ボランティアコーディネート

３）甲賀地域

地域行事、福祉施設、サロン等へのボランティアコーディネート、喫茶お和しすボランティア活動支援、傾聴ボランティア活動支援、生活支援ボランティア立ち上げ支援

４）甲南地域

もんじゃの会活動支援､ボランティアグループ手づくりおもちゃポッポちゃん活動支援、地域行事・団体・自主活動・おたっしゃ広場等のボランティアコーディネート
生活支援ボランティアグループ「すぷーん」の活動支援とコーディネート

５）信楽地域

障がい児・者活動支援、子育てサロン支援、あくてぃふ紫香楽活動支援、金曜会活動支援、信楽小学校特別支援学級取り組みへの支援、信楽青年寮盆踊り大会、地域サロン・行事へのボランティアコーディネート

③甲賀市介護予防ボランティア・ポイント業務

〇事前説明会

【開　催】4 回（7 月 27 日、9 月 20 日、11 月 27 日、1 月 24 日）
【内　容】ボランティア活動の基本について説明
【参　加】延べ 14 名

〇活動継続者研修会

【開　催】3 回（7 月 27 日、9 月 20 日、11 月 27 日）
【内　容】ボランティア活動、コミュニケーションの大切さについて
【参　加】延べ 60 名

④ボランティア保険加入事務

	ボランティア活動保険	行事保険	福祉サービス補償	送迎補償
水口	1,315 名	133 件（269 日）	2 件	3 件
土山	83 名	11 件（11 日）	0 件	0 件
甲賀	331 名	25 件（123 日）	0 件	11 件
甲南	506 名	19 件（ 34 日）	0 件	2 件
信楽	459 名	33 件（357 日）	2 件	1 件
合計	2,694 名	221 件（794 日）	4 件	17 件

（２）甲賀市ボランティア連絡協議会支援

支部名	支援内容	回数	参加延人数
市ボランティア連絡協議会	理事会、総会、交流会、視察研修など	9	199
水口支部	代表者会、役員会、交流会、研修会	13	136
土山支部	代表者会、学習会、交流会など	7	110
甲賀支部	役員会、代表者会、研修会、交流会など	8	233
甲南支部	役員会、定例会、研修会など	10	210
信楽支部	総会、定例会、研修会、ボランティアまつり、広報紙発行支援	8	288
合　計		55	1,176

（３）福祉学習等開催支援

（学校が実施する福祉学習への協力・支援）

（共配）

出前講座の実施（車いす体験、アイマスク体験、点字体験、インスタントシニア体験等）

《開催状況一覧》

	小学校		中学校		高校		専門学校		計	
	箇所	回	箇所	回	箇所	回	箇所	回	箇所	回
水口	4	7	1	8	1	1	1	18	7	34
土山	2	5	1	7					3	12
甲賀	2	4	1	1					3	5
甲南	4	12	1	3					5	15
信楽	3	5							3	5
市ＶＣ					1	1			1	1
計	15	33	4	19	2	2	1	18	22	72

《参加者数一覧》

	参加者合計（人）							
	児童・生徒・地域住民等	教諭	保護者	当事者	ボランティア	社協ヘルパー	社協（地域）	計
水口	1,313	54	0	12	14	5	16	1,414
土山	254	29	0	3	34	2	7	329
甲賀	185	14	0	1	5	3	3	211

甲南	585	39	0	8	12	5	11	660
信楽	132	11	96	2	0	7	8	256
市ＶＣ	12	1	0	0	0	0	1	14
計	2,481	148	96	26	65	22	46	2,884

※水口センター　その他（手話通訳士１名、ガイドヘルパー4 名）

（４）ボランティア助成事業

（共配）

事業名	助成対象団体	件数	金額（円）	事業内容
ボランティアグループ助成金	ボランティア連絡協議会活動助成金	1	200,000	ボランティア連絡協議会活動

１０．広報、地域福祉大会、人材育成

（１）広報紙の発行

（共配）

広報紙は、法人運営部による冊子版発行と各地域福祉活動センター発行の地域版、碧水荘だよりを発行した。冊子版では、社協全体としての動きや啓発などを行い、地域版では、各地域のきめ細かな情報を伝えた。広報紙の配布方法は各地区区長の協力により、各町内や組を通じて配布していただいた。冊子版の発行は年４回とし、その内年２回（7 月と１月）を新聞折り込みとした。

① 甲賀市全体版発行　４回（冊子版）　区長配布（4/15 9/15）　新聞折込（7/15 1/1）

	発行日	広報紙名	記事
1	4.15	社協こうか 第 83 号	・シリーズ「こうかできらり」「こうかの福祉人」 ・平成 30 年度社協事業計画、予算 ・赤い羽根共同募金協力事業所・団体一覧、他
2	7.15	社協こうか 第 84 号	・シリーズ「こうかできらり」「こうかの福祉人」 ・平成 29 年度社協事業報告・決算 ・社協会費納入のお願い、他
3	9.15	社協こうか 第 85 号	・シリーズ「こうかできらり」 ・災害福祉ネットワーク委員会・社協会費納入のお礼 ・サマースクールの報告、他
4	1. 1	社協こうか 第 86 号	・新年のメッセージ ・災害福祉ボランティアセンター設置運営訓練 ・甲賀市民生委員児童委員だより、他

※社協会費・共同募金協力へのお礼時に広報を同封するため、発行部数に増減あり。
また、7 月 15 日と 1 月 1 日発行は新聞折り込みとした。

②地域福祉活動センターだより発行(A3 両面)　区長配布、公共施設に配布

活動センター名	発行回数	配布
水口	3	全世帯
土山	3	全世帯
甲賀	3	全世帯
甲南	3	全世帯
信楽	3	全世帯
計	15	

※地域世帯数により発行。

③老人福祉センター碧水荘だより発行（A3 両面）　発行回数１回　　組回覧
教室募集チラシ　　発行回数１回

④社協内広報の発行（A3 両面・片面）　法人内部職員向けに発行 6 回

（２）地域福祉大会の開催

この大会は、甲賀市地域福祉活動計画に基づき、関係機関協働による「ご近所福祉のまちづくり」の実現をめざし、甲賀市の地域福祉に気軽に触れ、関心を持っていただく機会として広く参加できる大会を目的として開催した。

大会の企画は、ご近所福祉推進協議会のメンバーの方を中心に　地域福祉活動計画の進捗が図れ、活道の検証ができる地域福祉大会になるように、企画委員会を立ち上げ開催した。

午前中は、住民調査からも優先課題としてあがってきている外出支援について、基調講演から始まり、各地域で取り組まれているご近所福祉活動の発表と交流会を行った。午後からは、地域で取り組まれているご近所福祉活動の紹介をワールドカフェ方式で、小学校、民間企業を始めとする１２の団体から日頃の福祉活動の紹介をご近所福祉博覧会と称して開催した。

平成３０年度甲賀市地域福祉大会

【日　　時】3 月 16 日（土）９：３０～１５：３０
【テ ー マ】「地域で共に生きる～ご近所福祉でまちづくり～」
【大会概要】○開会式典　　表彰・感謝状贈呈
○基調講演　「外出支援について」講師　大谷大学　助教　野村実氏
○【ご近所福祉推進協議会 交流会】
各町域で取り組まれているご近所福祉推進協議会活動と
災害福祉ネットワーク委員会の進捗状況の報告と交流会
分科会進行　　大谷大学社会学部教授　志藤修史氏
【ご近所福祉博覧会】
地域の活動を４つのテーマ（見守り・居場所・ふくしネットワーク・災害）に分類して、以下の１２のブースを設けて活動を発表
①大久保宅食活動「五月の会」（甲賀）

②生活支援の活動　生活支援ボランティアすぷーん　（甲南））
③地域とつながる学校の取り組み　　佐山小学校（甲賀）
④あなたも主役になってみませんか！ 劇団「ふりぃだむ」（水口）
⑤高齢者の居場所　「あくてぃふ紫香楽」（信楽）
⑥子どもの居場所　食堂　「わいわい食堂」（水口）
⑦赤い羽根共同募金運動　～地域を支える仕組みづくりを提案～
⑧社会貢献とボランティア活動　企業　トヨタ紡織滋賀㈱より
⑨ケアハウスを活用した地域貢献活動　せせらぎ苑より
⑩災害時に命を守る「個別計画」甲賀市
⑪地域で今できることは～被災地支援活動を通して～　社協
⑫「信楽町勅旨の福祉と協働した防災活動」勅旨区（信楽）

【場　　所】忍の里プララ・甲南公民館
【参　　加】268 名

（３）職員報告会の開催

本会は、幅広い事業を三つの部門（法人運営部、地域活動支援部、在宅生活支援部）で展開しているが、他部門の職務や事業等についての共有する機会が少ない状態にあるため、職員による業務の状況報告や研修報告等、職員自身で報告する場を設けることにより、職員の誰もが本会の事業等について理解をする機会を持つとともに、職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的に実施した。

【日　時】5 月 10 日（木）18:30～19:30
【内　容】「ＮＰＯ法人　甲賀・湖南成年後見センターぱんじーへの職員派遣を経験して」
大久保相談員
【場　所】水口社会福祉センター
【参　加】52 名

【日　時】10 月 18 日（木）18:30～19:30
【内　容】①近畿ブロック研究大会報告「家族が不安を抱える医療依存度の高い利用者支援」
木下裕介　ケアマネジャー
②「ターミナルケアを経験して」
山本ゆかり　訪問看護師
【場　所】水口社会福祉センター
【参　加】40 名

（４）実習生の受入れ

○社会福祉士養成　社会福祉援助技術現場実習受け入れ
【実習生】日本総合研究所　1 名
【期　間】7 月 15 日～ 8 月 31 日 23 日間
【内　容】社協が実施する各種地域福祉事業・活動への参加を受け入れ、援助技術を中心に

指導・助言・評価を行なった。

○相談援助実習（社会福祉主事）現場実習

【実習生】京都医療専門学校　2名

【期　間】11月26日～ 12月11日 12日間

【内　容】社協が実施する各種地域福祉事業・活動での実習において、指導・助言・評価を行なった。

○介護、看護に関わる各種実習生受入

事業所名	受け入れ施設	目的	人数	日付
訪問看護事業	滋賀県立総合保健専門学校	看護学生 在宅看護論	9名	5月、11月 (108日間)
同	甲賀看護専門学校	老年看護学実習	35名	7月4日～6日
碧水荘デイ	水口中学校	職業体験	2名	6月11日～15日
同	高校3年生（甲賀市在住）	職業体験	2名	12月1日
すこやか荘	デイケアセンター心地	個別機能取り組み見学(PT)	1名	9月26日
同	大原小学校2年生	生活科学習	12名	7月12日
同	甲賀健康医療専門学校	臨床学習	35名	6月25日～ 11月5日
居宅介護支援事業（しがらき）	滋賀県ケアマネジャー連絡協議会	介護支援専門員実務者研修実習	1名	2～3月（21日間）

○同行

訪問看護事業　　・退院支援機能強化事業同行訪問　信楽中央病院　2名

・痰吸引同行訪問　　社協　　1名（1号）

１１．市民福祉活動センター（あいこうか市民活動ボランティアセンター）

（市指定管理事業）

甲賀市は、市民が快適に暮らせるまちづくりをすすめるため、ボランティアなどの市民活動と地域福祉を促進する機能として「あいこうか市民活動・ボランティアセンター」を平成２４年５月に開設し、社協がその管理運営の指定を受け、区・自治会や自治振興会、市民団体・ＮＰＯなど市民活動の充実や、人材活性化事業等による人材育成、各関係機関等との連

携に努めてきた。平成30年度は、当センターをはじめ市と社協、市内市民活動団体等の連携を深めるとともに、常に当センターの利用者目線に立ち、満足して利用していただけるようサービスに努めた。

（１）市民福祉活動センターの運営

○人権研修会

【日　程】　6月22日（金）

【出席者】　21名（内4名職員）

【内　容】　○「人権をしっているからしているへ」

講師　甲賀市人権教育指導員　岡村　保　氏

○ワークショップ

○地域まちづくり講座

これからの地域活動の在り方を考えるきっかけづくりとして地域まちづくり講座を開催

【テーマ】　白洲正子が訪れた甲賀の「かくれ里」「近江路」に学ぶ

【講　師】　猪飼　ゆり子　氏

【回　数】　2回　11/22　大池寺　37名

12/4　油日会館、油日神社、歴史民俗資料館　29名

○運営懇話会

センターの閉所にあたり、有識者をはじめ、関係団体、利用者を交えて、懇話会を開催

【日　程】　2月8日（金）

【出席者】　19名（内4名職員）

【内　容】　○閉所に至る経緯について

○閉所以降の利用団体の活動場所等について

○その他

（２）甲賀市人材活性化事業

（私にもできる♡まちづくりＪＵＫＵ）

市地域コミュニティ推進課と共催で事務局体制をとり事業を実施。

○スタッフ等打合せ

【参　加】市地域コミュニティ推進課

【回　数】4月13日、5月23日、6月25日

【場　所】甲賀市市民福祉活動センター

○甲賀まちづくりサロン（甲賀市人材活性化事業）

まちづくり最初の一歩講座。

ゲストスピーカーからまちづくり談義を聞き意見交換会を実施

【内　容】

11 月 11 日（日）信楽町	県指定史跡「小川城跡」～歴史散策～	14 名
11 月 12 日（月）土山町	扇屋伝承文化館～地域の拠点～	16 名
1 月　1 日（土）水口町	“地域社会は人材の宝庫”「ミニミニ講座」	17 名
2 月 17 日（日）甲賀町	隠岐のたけのこ～村おこしグループ恵みの里おき～	10 名
2 月 23 日（土）甲南町	小規模多機能自治への取組み～希望ヶ丘学区～	10 名

○女性のためのビギナーズカフェ（甲賀市人材活性化事業）

○女性ならではの目線で、甲賀の街を見つめなおし、地域のために何かを始めてみたいがどうすればいいかわからない、一人では不安を感じる女性を対象に、受講者同士気軽に語り合う中で、それぞれが取り組めるものを発見し、市民活動につながるきっかけをつくる。

受講者　20 人

【回数】5 回　第 1 講　9 月 15 日（土）オープニング（古民家カフェ一里塚）

第 2 講 10 月　6 日（土）「きっとうまくいく～なりたい自分になる気トレ～」

講師　イメージトレーナー　木村由貴　氏

第 3 講 11 月 10 日（土）「自然はレストランの経営（有機ブルーベリーの栽培）」

講師　ブルーベリーフィールズ紀伊國屋治兵衛
岩田康子　氏

第 4 講 12 月 8 日（土）「女性防災士～いざ飯～」

講師　西田くみ子　氏

第 5 講　1 月 19 日（土）「稚木の会～ヴォーリズ建築に心を寄せて～」

講師　福井里江子　氏

○こうか・まちカレッジ（甲賀市人材活性化事業）

○第 3 回・5 回は視察研修とし、他の回については、グループワークなどを中心に開催

受講者　7 人

【回　数】 5 回　第 1 回　8 月 28 日（火）

○オリエンテーション

○自己紹介と受講生間の対話

第 2 回　9 月 20 日（木）

○「私はこれをやりたい」シート記入・発表

○「マンダラート」記入・グループディスカッション

第 3 回　10 月 20 日（土）

○長浜市特定非営利法人「つどい」の視察

第 4 回　11 月 13 日（火）

○地域資源を生かした構想の事業化方針検討（1）

第５回　12 月 16 日（日）
〇大津市視察
・ひらの円卓会議主催「ひらのまちづくりフォーラム」
・大津の町屋を考える会が管理する
「まちづくり大津百まち館」
第６回　1 月 16 日（水）
〇地域資源を生かした構想の事業化方針検討（２）
第７回　2 月 4 日（月）
〇これまでの講座内容の振り返り
〇プレインライディングを使ったテーマの掘り下げ

（３）市民活動つながり事業

〇浅間石仏原画作成　　製作　貴生川絵画サークルみのり会
原画展「みなくちのせんげん石仏原画展」
日程　平成 31 年 3 月 5 日（火）から 29 日（金）
会場　貴生川公民館　1 階ロビー
〇事業のステップアップ・方向性の検討、提案

（４）センター登録と需給コーディネート

①市民活動・ボランティアセンター登録数
【グループ登録数】　239 グループ　5,932 名
【個 人 登 録 数】　546 名　　【合 計 登 録 者 数】　6,478 名

②相談・コーディネート
【コーディネート件数】　57 件
・子育て・子ども関係　3 件　　・老人クラブ関係　11 件
・サロン関係　4 件　　・コミュニティ関係　31 件
・その他　8 件

（５）コミュニティ活動「自治振興会」「区・自治会」支援

〇山内自治振興会　事業企画支援　　絵屏風
〇岩上自治振興会　事業運営支援　　講座受講者 1000 人突破記念のつどい助言
〇綾野自治振興会　事業運営支援　　あやのわいわいフェスタ
〇各区・自治会　敬老会、人権研修、納涼祭等イベント支援

池田	上馬杉	岩室	岩坂	三本柳
水口第 9 区	宝木	高山	牛飼	田堵野
北内貴	水口第 21 区	竜法師	隠岐	土山南中区

拝坂	牧	水口第５区	東古城が丘	水口松尾台
下野川	野尻	三大寺	下馬杉	希望ヶ丘

○印刷機、輪転機、長尺プリンターの利用件数

印刷機（コピー機）、輪転機　354 件

長尺プリント　348 件

○物品貸出し件数　133 件

１２．共同募金運動の推進

甲賀市共同募金委員会

※事業全般については、共同募金委員会事業報告書に掲載。

１３．その他受託事業等

（１）障がい児タイムケア事業

（市委託事業）

タイムケア事業は、甲賀市からの受託事業として市内５地域で実行委員会を設置し、多くのボランティアや関係機関、団体の協力を得て、事故なく、無事に終えることができた。

サマースクール

《市全体》

○障がい児支援ボランティア養成講座

【日　時】7 月 7 日（土）10:00～11:30

【内　容】障がいの特性と関わり方のポイントについて

講師：甲賀市発達支援課　星屋　憲志　氏

甲賀市タイムケア事業について

【場　所】水口社会福祉センター　福祉ホール

【参　加】47 名、市役所 1 名

○サマースクールボランティア説明会

①市役所新人職員への説明

【日　時】7 月 11 日（水）9：30～11：30

【内　容】サマースクールボランティアとしてのかかわり方、子どもたちとのかかわり方について、他

【場　所】甲賀市役所

【対　象】平成 29・30 年度採用職員

②甲南高校への説明会

【日　時】7 月 19 日（木）8：50～9：30

【内　容】サマースクールボランティアとしての役割、子どもたちとのかかわり方について、他

【講　師】保護者 1 名、指導員 1 名

【場　所】甲南高校

【参　加】甲南高校 総合学科（福祉と保育系列 2 年生）19 名

○サマースクールの開催状況

地域別		水口	土山	甲賀	甲南	信楽	**市全体**	市全体（29 年度）
日数		7	6	6	7	7	**33**	**34**
参加者	小学生	17	5	4	11	9	**46**	**60**
	中学生	2	0	6	3	3	**14**	**20**
	高校生	4	2	1	1	5	**13**	**19**
	合計	23	7	11	15	17	**73**	**99**
一日平均参加児童数		11.6	4.8	7.5	9.4	10.7	**9.0**	**9.8**
参加児童延べ人数		81	29	45	66	75	**296**	**333**
ボランティア参加1日平均		27.9	13	15.5	21	17.3	**20.5**	**21.8**
ボランティア延べ人数		195	78	93	148	121	**678**	**741**
指導員延べ人数		18	12	14	20	18	**82**	**89**
保護者当番延べ人数		0	0	0	15	0	**15**	**26**
保護者（家族）延べ人数		11	3	18	6	38	**76**	**85**
社協延べ人数		10	12	6	7	9	**44**	**53**
実行委員会回数		2	2	2	2	2	**10**	**10**

○サマースクールの内容概要

町別	概要
水口	開校式、太鼓鑑賞、ダンボールあそび、水に浮かぶおもちゃづくり、映画鑑賞、夏休みの宿題、ダンス、調理実習、観劇、バス外出、夏まつり、記念品づくり、閉校式
土山	開校式、劇を見よう、出席カードづくり、一日親子旅行（名古屋港水族館）、宿題、ダンス体験、紙芝居、あいコムこうか見学、楽器づくり、餃子づくり、図書館へ行こう、ミュージックベル、ヨーヨーづくり、スライドショー、閉校式
甲賀	開校式、風船遊び、おやつづくり、わくわくチャレンジ大会、紙芝居、親子バス旅行、図書館、プール、ダンス体験、あいコムこうか見学、礼状づくり、紙飛行機づくり、大そうじ、閉校式
甲南	開校式、出席カードづくり、紙すき体験、もんじゃ焼づくり、手紙を書こう、夏祭り、フラダンス、うどんづくり、思い出作り、親子バス旅行、餃子づくり、閉校式

信楽	開校式、のれんづくり・おやつバッグづくり、劇をみよう、紙すき体験、ミュージックケア、夏祭りの準備、とん平焼きをつくろう、夏まつり、親子バス旅行、プール、手紙を書こう・写真立てをつくろう、図書館へいこう、作陶体験、お弁当づくり、スライドショー鑑賞、閉校式

○関係会議

	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
指導員会議等	３回	７回	５回	１４回	４回
〃　　人数	６名	４名	７名	２名	４名
実施主体	実行委員会	サマースクールを考える会	説明報告会	内容検討会	実行委員会
〃　備考	18名　2回	16名　2回	10人　3回	13人　2回	23人2回

○協力団体等

（水口）水口町民生委員児童委員協議会、甲賀市健康推進連絡協議会水口支部、水口町赤十字奉仕団、水口町更生保護女性会、甲賀市ボランティア連絡協議会水口支部、サマースクール保護者会、手をつなぐ育成会、水口小学校、綾野小学校、伴谷小学校、伴谷東小学校、柏木小学校、貴生川小学校、城山中学校、水口中学校、甲賀市障がい福祉課

（土山）土山町民生委員児童委員協議会、保護者、甲賀市健康推進連絡協議会土山支部、土山中学校、土山小学校、大野小学校、甲賀市障がい福祉課、甲賀市身体障害者更生会

（甲賀）指導員、保護者、甲賀町民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡協議会甲賀支部、健康推進員連絡協議会甲賀支部福祉部、大原小学校、油日小学校、佐山小学校、甲賀中学校、滋賀県知的障がい者相談員、甲賀市障がい福祉課

（甲南）指導員、甲南町民生委員児童委員協議会、ひまわり会（保護者会）、ボランティア連絡協議会甲南支部、甲賀市健康推進連絡協議会甲南支部、甲賀市障がい福祉課

（信楽）保護者、指導員、信楽町手をつなぐ育成会、甲賀市ボランティア連絡協議会信楽支部、健康推進員連絡協議会信楽支部福祉部、信楽青年寮、しがらき地域生活支援セ　　ンター、ワークセンター紫香楽、信楽くるみ作業所、信楽小学校、信楽中学校、信楽高校、甲賀市障がい福祉課

ウインタースクール

○ウインタースクール及びスプリングスクールの開催状況

地域別		水口	土山	甲賀	甲南	信楽	**市全体**	市全体（29年度）
開催日		12/15	―	12/9	―	3/26	**3**	**2**
参	小学生	7		1	―	6	**14**	**14**

加者	中学生	2		3	―	1	6	8
	高校生	1		0	―	1	2	4
参加児童数（人）		10	―	4	―	8	22	26
ボランティア人数（人）		10	―	1	―	15	26	33
指導員人数（人）		2	―	2	―	2	6	6
保護者（家族）数（人）		10	―	4	―	5	19	27
社協職員数（人）		2	―	1	―	2	5	6
実施場所		伴谷東小学校	―	かふか生涯学習館	―	柞原会館	―	―
内　　容		クリスマス会	―	クリスマス会	―	名画でびっくりコラー　ジュ・ホットケーキづくり	―	―

（２）障がい児等の居場所づくりの推進

障がい児等の居場所づくりとともに、保護者同士のつながりづくりを目的に、身近な地域に定期的な居場所をつくることで、地域福祉活動計画の基本理念である「地域で共に生きる～ご近所福祉でまちづくり～」を目指して、協議・懇談会・実態調査を行った。

○懇談会

【日　時】水口３回　①4 月 23 日（月）②6 月 16 日（土）　③9 月 27 日（木）
甲賀　1 回 9 月 8 日（土）　　甲南 1 回　5 月 23 日

【内　容】保護者懇談会、居場所の計画について
障がいのある子どもたちとの地域の暮らしとつながりに関するアンケート結果について（説明）、意見交換（今後の取組みについて）

【参　加】計　22 名

○障がい児等の居場所開催

《水口地域福祉活動センター》

【日　時 6 回　①5 月 27 日（日）　②8 月 19 日（日）　③10 月 27 日（土）
④11 月 25 日（日）　⑤1 月 26 日（土）　⑥3 月 12 日（土）

【場　所】水口社会福祉センター、貴生川公民館

【内　容】調理実習、ものづくり、バス外出など

【参　加】参加者延べ 120 名

《土山地域福祉活動センター》
【日　時】8 月 17 日（金）、8 月 27 日（月）、12 月 25 日（火）、3 月 26 日（火）
【場　所】土山町内の空き家（おいでおいでサロン会場）
【参　加】延べ人数 63 名

《甲南地域福祉活動センター》
【日　時】①8 月 11 日（土）17:00～19:45　②2 月 10 日(日)11:00～15:00
【場　所】杉谷公民館
【対象者】甲南町在住で心身に障がいがある者・児童と家族、サマースクール参加者
【内　容】①流しそうめん、スイカわり、他　②たこやきづくり、工作
【参加者】参加者のべ 29 名　　①12 名　　②17 名

《信楽地域福祉活動センター》
【日　時】①5 月 20 日（日）、②8 月 5 日（日）、③11 月 18 日（日）
【場　所】①西運動公園／信楽開発センター、②神山会館、③山田牧場／神山会館
【内　容】自由遊び／ミュージックケア／搾乳・バター作り体験　など
【参　加】参加者のべ 63 名

（３）ファミリーサポートセンター事業

（市受託）

【趣　旨】住民が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境を整備するとともに、地域における子育て支援を行い、労働者の福祉の増進および児童の福祉の向上を図る。
【マッチング回数】431 件
【活 動 別 実 績】

活動内容	30 年度　回数	29 年度　回数
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	28	0
保育所・幼稚園の送り	150	241
保育所・幼稚園の迎え	168	77
学童保育の終了後の預かり	6	20
保護者の外出の場合の預かり	0	2
学童保育の迎え	37	122
子供の習い事の場合の援助	38	50
保育所・学校等休み時の援助	1	0
保護者等の短時間労働の場合の援助	2	21
保護者の病気、その他急用時の預かり	0	2
学習支援事業の送迎	0	56
その他	1	30

合計	431	621

会員名	30 年度	29 年度	28 年度
おねがい会員	217	201	199
まかせて会員	89	87	89
どっちも会員	21	18	13
合計	327	306	301

【事 業 内 容】

	名称	開催日	時間	場所	人数	内容
講座・交流会	子育て応援講座（基礎編）	7 月 13 日（金）	10：00～12：00	甲賀市役所別館会議室 203	14	子どもの発達について（発達支援課）
		7 月 20 日（金）			14	一人ひとりが大切に育てられるために（保育幼稚園課）
		7 月 27 日（金）			11	子どもの安全について（すこやか支援課）事業紹介・登録お願い（各事業担当者）
	子育て応援講座（応用編・交流）	12 月 15 日（土）	13：30～15：30	忍の里プララ	11	クリスマスリース作り腹話術で子育ての話（神山さち子さん）
広報関係	講座チラシ	６月		甲賀市内一円	1	全会員への郵送、関係機関への配布と郵送
	社協こうか	７月				全戸配布（区長配布）、関係機関への配布と郵送
	ファミサポ通信発行	１１月				全会員へ郵送、市内小学校・関係機関への配布と郵送
登録業務（出張）		随時		社協各地域福祉活動センター又は会員の自宅	46	センターまで来所困難なお願い会員への対応
相談業務		随時			137	利用の問合せ等

（４）こんにちは赤ちゃん事業

（市受託）

【内　容】生後 3 か月の赤ちゃんのおられる家庭を民生委員児童委員が訪問される事業に対し、民生委員児童委員へその家庭の情報を市から委託を受け、訪問先データ及び訪問時にお渡しする粗品及び子育ての情報紙を準備し、民生委員児童委員の

定例会で担当も委員へ配布します。子育てで悩みを抱えるケースも多く、早期発見早期対応を目指し、担当機関へつなぐケースもあります。

【訪問件数】民生委員児童委員による赤ちゃん訪問件数

	30 年度	29 年度	28 年度
水口	338	319	336
土山	38	32	25
甲賀	45	56	54
甲南	145	155	151
信楽	45	43	49
合計	611	605	615

（５）認知症キャラバン啓発事業

（市受託）

受託 3 年目となり、各地域ではサポーター養成講座を通じて地域見守り活動に繋げるために専門性を活かした関わりに努めている。住民の方が認知症サポーターとして徘徊されていた方をそのご家族に繋げられるなど、徐々に活動の成果が見えてきた。

○甲賀市職員との合同定例会開催　　3 回

○各町地域における定例会開催　　月 1 回程度

○甲賀市キャラバンメイト現任研修開催　　1 回

現任メイト参加人数　　64 名（内社協 27 名）

○サポーター養成講座

	開催回数	参加人数
水口地域	10　(12)	453　(342)
土山地域	10　(7)	188（144)
甲賀地域	7　(7)	242（314)
甲南地域	7（10)	293（444)
信楽地域	5　(9)	89（137)
合計	39（45)	1,265（1,381))

※（　）内（　　）前年数字

（６）ふくしマンパワーねっと事業

（市受託）

甲賀市内の福祉現場で働く職員の人権意識を高め、質の高い福祉を継続することと、地域福祉課題を具体的に解決していくため、福祉事業所と職員同士をつなぐネットワークを構築していく。

（平成 28 年度～30 年度の 3 年間の市委託事業であり、社協および社会福祉法人の主体事業）

平成 30 年度は、過去 2 年間の事業を継続しながら、「ふくしマンパワーねっと こうか」とご近所福祉推進協議会との意見交換の場を設けるなど、地域福祉課題の具体的な解決に向けて福祉関係者と地域住民がつながる場づくりを行った。

①社会福祉法人連絡会

【日　　時】 平成 31 年 3 月 4 日（月）13：30～14：30
【出　　席】 社会福祉法人施設長 7 名、社協 5 名、アドバイザー1 名　　計 13 名
【内　　容】・平成 30 年度事業報告
・「ふくしマンパワーねっと こうか」のこれからについて
【場　　所】水口社会福祉センター中会議室

②「ふくしマンパワーねっと こうか」中間マネジャー会議

【日　　時】 6 月 27 日（水）、8 月 30 日（木）、平成 31 年 2 月 19 日（火）計 3 回
【出　　席】 社会福祉法人中間マネジャー、社協
【内　　容】・施設を使った居場所づくりと福祉避難所について
・第 3 回学習会＆交流会に向けての内容検討
・平成 31 年度事業のふりかえり、次年度に向けて
【場　　所】水口社会福祉センター中会議室

③「ふくしマンパワーねっと こうか」人権研修

【日　　時】 平成 30 年 9 月 28 日（金）①14:00～16:00　②18:00～20:00
【場　　所】 水口社会福祉センター福祉ホール
【参 加 者】計 29 名
【内　　容】「ココロとカラダを整えよう！～楽しいワークを通じて人権を体感しよう～」
講師　溝口英二さん（産業カウンセラー）

④学習会＆交流会

【日　　時】①7 月 12 日（木）※社会福祉法人連絡会も兼ねて実施
②8 月 20 日（月）③10 月 31 日（水）④平成 31 年 3 月 4 日（月）
【場　　所】 水口社会福祉センター福祉ホール他
【参 加 者】①26 名　②18 名　③17 名　④14 名
【内　　容】①「働き方改革について」　②「広報制作研修」
③「身近な取り組みに学ぶ社会福祉法人の地域貢献」
④「誰もが自分らしく地域と共に～地域共生社会と地域貢献の原点～」

⑤土山地域＆福祉事業所課題解決ネットワーク研修会

【日　　時】平成 31 年 2 月 20 日（水）13:30～15:30
※土山地域ご近所福祉推進協議会との共催
【場　　所】フィランソ土山
【参 加 者】33 名

【内　　容】・土山地域の社会福祉法人による報告
・福祉関係者と住民との地域福祉課題についてのグループワーク

⑥「ふくしマンパワーねっと こうか」情報の受発信
全事業所ネットを通じて、研修開催、物品提供など情報の受発信を行った。
【情報受発信】25 回
【主な情報の内容】登録事業所からイベントや地域貢献活動についての情報提供、研修の案内、物品提供(企業、住民より)

１４．被災地支援

台風 7 号及び梅雨前線の影響により、西日本を中心に多くの災害が発生した。本会は滋賀県社協と連携し、被災地である岡山県倉敷市に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

【派遣先】岡山県倉敷市社会福祉協議会（災害ボランティアセンター）
【派遣地】本部（中国職業能力開発大学校）及び薗・川辺サテライト
【派遣期間】(各 1 名派遣)
①第　3 クール　　7 月 28 日（土）～8 月 1 日（水）
②第　7 クール　　8 月 15 日（水）～8 月 19 日（日）
③第 11 クール　　8 月 31 日（金）～9 月　3 日（月）
④第 12 クール　　9 月　5 日（水）～9 月　8 日（土）
⑤第 14 クール　　9 月 12 日（水）～9 月 16 日（日）
⑥第 17 クール　　9 月 24 日（月）～9 月 28 日（金）
【派遣内容】災害ボランティアセンター運営支援、サテライトでのマッチング業務他

１５．機器貸出事業

貸出状況

物品	水口	土山	甲賀	甲南	信楽	貸出合計
わたがし機	16	7	0	0	11	34
ポップコーン機	35	15	6	0	14	70
かき氷	12	0	9	0	8	29
たこ焼き機	2	0	2	0	0	4
餅つき　臼と杵	2	0	0	0	1	3
レクレーション	131	99	95	1	0	326

ニュースポーツ	9	40	0	0	0	49
おもちゃ	0	218	0	1	0	219
ビンゴ道具	11	2	14	0	0	27
カラオケ・楽器	16	11	6	1	1	35
テント	24	4	0	0	0	28
車いす	107	56	70	24	43	300
スロープ	2	1	0	0	0	3
歩行器	3	0	0	0	0	3
アイマスク	29	10	0	0	1	40
点字機器	91	0	0	0	0	91
ビデオ DVD	0	0	52	36	0	88

Ⅲ．医療・介護・福祉連携への取り組み

１．在宅生活支援部の事業

訪問介護事業・訪問入浴事業・通所介護事業・訪問看護事業・居宅介護支援事業

（１）在宅看取りケア・認知症ケア

①在宅看取りケアの実践

チームケアの視点で取り組んでいる在宅看取り件数は、死亡契約終了者数の 38.0%で、（H28 年度：35.9%　H29 年度：42.1%）で、一定の成果をあげている。

○社協各事業在宅看取り支援件数

	在宅看取り件数	死亡終了件数	在宅看取り率（%）
訪問介護	15	34	44.1%
訪問入浴	14	20	70.0%
通所介護	0	0	0　%
訪問看護	5	20	25.0%
居宅介護支援	18	54	33.3%
合計	52	137	38.0%

②認知症ケア

認知症ケア向上を目的として、訪問介護・訪問入浴は「ひもときシート」を、訪問看護は「ICF シート」を活用し、これまでの知識と経験に基づいたケアから統一された思考の対応に着手し継続中。居宅介護支援では、認知症の事例共有会を通して、認知症支援のスキルアップに取り組んでいる。

③「サロンいどばた（認知症介護者部会）」への参加

毎月 2 名在宅生活支援部 13 事業所職員が輪番で「サロンいどばた」に参加し、会員さんとの会話を通しご家族の思いや苦労・喜びに寄り添い傾聴。同時に介護保険制度の疑問や使い方、対応の仕方等について会員さんからの質問に対して専門職から情報提供を行いつつ、会員の皆様の声を自事業運営に反映させていただいている。

④認知症キャラバン啓発事業

「認知症になっても安全に暮らしつづけられる甲賀市」を目的に 5 町エリアごとに各地域在住の市民キャラバンメイトや市内介護保険事業所のキャラバンメイトの方々を中心に、地域包括支援センター・地域福祉活動センター・在宅生活支援部介護保険事業所職員が協働でサポーター養成講座の開催を行った。

また水口町福祉センターにおいて、11 月 29 日（木）には、認知症キャラバンメイト養成研修および現任研修を開催。新たに 37 名のキャラバンメイトを養成した。

⑤福祉教育

甲賀市内全エリアの小中学校にて 12 回、車いす体験学習授業を行った。また、認知症サポーター養成講座を甲賀市内の小中高生を対象に 9 回開催した。社協通所介護事業所においては、小学２年生の生活科学習の受け入れ（12 名）や、医療専門学校の柔道整復科臨床実習の受け入れ（35 名）を行った。

（２）各事業体制強化の取り組み

①痰吸引認定訪問介護員の育成

30 年度の第一・二号研修全課程修了者　　２名

痰吸引認定訪問介護員　　5 事業所　　計 13 名（H31.3.31 現在）

②介護福祉士資格取得者の増員

碧水荘デイサービスセンター　　1 名

ヘルパーステーションしがらき　　２名

③日本介護支援専門員協会　第１８回近畿ブロック研究大会　in　奈良

3 月 24 日（日）　　研究発表参加

「在宅看取りに関するアンケート調査から

～在宅看取りの取り組みに関する効果を検証する～」

④滋賀県医療情報連携ネットワーク『びわ湖あさがおネット』参加

途切れのない医療サービスの提供を目指すため、滋賀県医師会運用「淡海あさがおネット」と統合した医療・介護ネットワークに参画した。新システムは平成 30 年 4 月開始となり、受け入れ体制を整備している。

⑤社協内事業所間相互応援体制

利用契約（サービス提供）実数の増減に合わせ、利用申し込みを断ることなく対応するため、稼働量が不足している事業所へ応援に行く体制をとり、今年度 11 事業所間の相互応援で応援。応援実績額は、総額 4,001,154 円となった。

⑥感染症対策研修の実施

1 月 24 日（木）、かふか生涯学習館において、甲賀病院感染管理認定看護師を講師に招き結核の予防と対策、介護ケアと感染対策について研修を行った。在宅生活支援部職員 19 名が参加した。

２．訪問介護事業

◎認定特定行為業務従事者研修・実習を受講し特定の利用者への吸引、経管栄養の実施ができる業務従事者資格を２名が取得した。

◎29 年度に引き続き体制強化を図り認定特定行為業務従事者が事業所枠を越えて訪問。
◎訪問介護事業の看取りケアでは入所者を除く契約終了者全体で 44%の利用者の方が最期まで在宅で過ごしていただくことが出来た。
◎利用者アンケートを実施。概ね高い評価を頂いたがサービスの提供の基本となる対人援助の理解、振り返りをするため外部講師を招いて接遇研修を行った。
◎産じょく期ヘルパーの派遣が今年度、急増。乳児の世話、家事等の実質的な援助を行う中で産後不安になりがちな母親の精神的援助にもつながった。
◎法令遵守

平成 30 年度居宅サービス事業所実地指導

・ヘルパーステーションつちやま　7 月 27 日（金）
　※居宅サービス実地指導適正な運営、文書指摘事項無の通知を受領　7 月 31 日（火）

平成 30 年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導

・ヘルパーステーションこうか　1 月 29 日（火）
・ヘルパーステーションしがらき　2 月 27 日（水）
　※両事業所共に障害福祉サービス実地指導適正な運営、文章指摘事項無の通知を受領
　1 月 31 日（木）・ 3 月 1 日（金）

緩和型サービス事業所指定申請

・介護予防いきいきステーション　訪問型サービスＡ申請書提出　2 月 28 日（木）
　※指定期間：平成 31 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

①安否確認安心ダイヤル事業の実施

事業所名	利用者数（人）	電話回数（回）	訪問回数（回）
みなくち	12（24）	364（655）	1（2）
つちやま	12（10）	305（304）	0（1）
こうか	12（22）	359（652）	0（0）
こうなん	0（0）	0（0）	0（0）
しがらき	5（0）	62（0）	0（0）
計	41（56）	1,090（1,611）	1（3）

※（　）内前年数字

②事業運営状況

○事業所別 年間訪問介護（介護給付）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり平均利用回数
みなくち	592（　682）	13,232（15,982）	22.4（23.4）
つちやま	562（　617）	9,913（11,243）	17.6（18.2）
こうか	528（　518）	11,215（12,538）	21.2（24.2）
こうなん	450（　458）	9,251（10,463）	20.6（22.8）
しがらき	506（　577）	9,461（11,657）	18.7（20.2）

計	2,638（2,852）	53,072（61,883）	20.1（21.7）
月平均	220（　238）	4,423（ 5,157）	20.1（21.7）

※（　）内前年数字

○事業所別 年間訪問介護（総合事業）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	69　(34)	362　(158)	5.2（4.6）
つちやま	102　(67)	472　(333)	4.6（5.0）
こうか	134　(76)	801　(441)	6.0（5.8）
こうなん	165　(83)	786　(408)	4.8（4.9）
しがらき	96　(61)	423　(265)	4.4（4.3）
計	566（321）	2,844（1,605）	5.0（5.0）
月平均	47　(27)	237　(134)	5.0（5.0）

※（　）内前年数字

○障害別自立支援給付年間利用状況

サービス区分	利用者数	サービス区分	利用回数
身体	87　(65)	身体	2,855（2,273）
知的	173（149）	身体生活	120　(173)
児童	36（42）	生活	310（469）
精神	123（152）	同行	76（69）
難病	0（　0）	－	－
視力	59　(60)	－	－
合計	478（468）	合計	3,361（2,984）
月平均	40　(39)	月平均	280　(249)

※（　）内前年数字

○甲賀市受託事業・保険外サービス年間利用状況

	利用者数	利用回数	月平均（名・回）
甲賀市介護特別給付事業	47（45）	1,502（1,328）	4（4）・ 125（111）
甲賀市産褥期ヘルパー派遣事業	27（ 1）	113（1）	2(0.1)/9.4(0.1)
甲賀市ひとり親家庭家事援助派遣事業	0（ 0）	0（0）	0（0）　・　0（0）
甲賀市移送乗降介助事業	35（22）	76（62）	3（2）　・ 6.3（5）
介護保険外サービス事業	146（167）	336（443）	12（14）・ 28（37）

※（　）内前年数字

３．訪問入浴事業

◎訪問入浴事業所職員在宅看取り・認知症事例検討会　介護技術研修会

9 月 5 日　（水）　　職員参加数　15 名　　（水口社会福祉センター）

2 月 20 日（水）　　職員参加数　12 名　　（水口社会福祉センター）

※看取り事例を通して利用者・家族の思い、職員のサービス提供の振り返りを行った。
援助する側の視点を持った事例集を作成し今後の看取りケアの啓発資料となった。
ご本人・ご家族に寄り添い訪問入浴介護の提供を行うことができ、契約終了者の 70%の利用者の最期を在宅で支えることが出来た。

◎　訪問入浴の拠点移動

市民福祉活動センター（甲南町）へ移動のため　引っ越し　　3 月 30 日（土）

①事業運営状況

○訪問入浴（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	回数（回）	一人当たり平均利用回数
湯ステーション	400（459）	2,033（2,317）	5.1（5.1）
月平均	33（38）	169（193）	5.1（5.1）

※（　）内前年数字

○甲賀市身体障害者入浴サービス事業年間利用状況

	利用者数	利用回数	月平均　名・　回
湯ステーション	23（28）	82（91）	2（2）・6.8（8）

※（　）内前年数字

４．通所介護事業

◎利用者の社会参加・交流

・甲賀支所へ広島千羽鶴の奉納（7 月 23 日）

・福祉作業所との交流会、ハンドベル隊の演奏会を行い親交を深めた
（第 1 回交流会　10 月 31 日、第２回交流演奏会　11 月 8 日）

・卒園児に対して記念品を作成し 22 名分の（玩具）贈呈（3 月 7 日）

・女性消防隊啓発事業用品 2000 個作成（ポケットティッシュ）

・通所の全国版月刊専門誌に、壁画や手芸品を出展し 3 度入賞を果たす

◎自立支援

・個別機能訓練加算の対象者を増やし実施したことで、目標を持ち通所することへの意識づけを行い、通所合算して昨年よりほぼ 1.5 倍の収益アップに繋がった。またＡＤＬ利得の数値にも反映し、来季からのＡＤＬ維持等加算取得に繋げられた

◎看取り・認知症支援

・職種間連携を深めるため看取り、認知症の取り組み事例の報告会開催（８月３日）

・重度者送迎時の急変に対し看護師の同乗対応や、マニュアル作成により緊急時に備

えている

◎防災関係

・防災士、女性消防団と連携した避難訓練の開催　年２回

◎地域との関わり,福祉学習受け入れ実施

・中学生職場体験受け入れ　6名

・小学生社会科学習会受け入れ　12名

・保育園児との交流会　4回　89名

・医療専門学校の柔道整復科臨床実習の受け入れ　35名

・ボランティア交流　歌謡・舞踏・手芸・紙芝居・植木刈り込み　320名

・甲賀市高齢者介護予防ボランティアポイント制度活用　4名

・甲賀地域ご近所福祉フォーラム参加　2月17日

・地域住民施設見学受け入れ　8名

・３カ所の訪問リハのＰＴと連携し、在宅生活継続に向けて訓練を実施した　5名

◎アンケート調査

・ご利用者満足度及び今後のサービス向上のためにアンケートを実施集計報告を行った

◎すこやか荘防煙壁工事に伴う仮設事業所での営業開始　平成30年10月6日

工事完了につき甲賀町での営業再開　平成31年 3月25 日

①事業運営状況

○事業所別通所介護（介護給付）年間利用状況

	利用者数	利用回数	一人当たり利用
碧水荘	438（473）	3,921（4,234）	月平均9（9）日
すこやか荘	449（553）	3,779（4,992）	月平均8.4(9) 日

※（　）内前年数字

○事業所別通所介護（予防給付・総合事業）年間利用状況

	利用者数	利用回数	一人当たり
碧水荘	66（48）	288（204）	月平均4.4(4) 日
すこやか荘	33（57）	210（349）	月平均6.4(6) 日

※（　）内前年数字

○1日平均通所者数　（介護給付・予防給付・総合事業の合計数）

	利用者数	利用定員	通所率
碧　水　荘	13.7（14）	20	72（74）％
すこやか荘(4～9月)	13.7（17）	25	55（57）％
(10～3月)	12.4（17）	20	62（57）％

※（　）内前年数字

５．訪問看護事業

◎滋賀県立総合保険専門学校看護学科臨地実習

平成 30 年 5 月 7 日（月）～平成 30 年 11 月 21 日（水）

学生 3 名　3 クール延べ日数 108 日

◎退院支援機能強化事業　訪問看護ステーション同行・見学受け入れ

信楽中央病院　看護師　2 名　12 月 18 日（火）

◎喀痰吸引等実地研修指導修了

社協訪問介護員　1 名　　平成 30 年 11 月 21 日～31 年 3 月 19 日

◎甲賀看護専門学校生講義

「平成 30 年度老年看護学実習Ⅰ」

「訪問看護について」

目的：訪問看護の実際を学び、地域における高齢者看護を理解する

日時：7 月 5 日（木）　看護学校　2 年生　35 名

◎他職種連携会議

地域医療を推進する開業医、薬局、ケアマネジャーと連携

◎24 時間緊急電話対応の総回数　641 回　平成 29 年度は回数 1,139 回　前年比 56%

◎各種会議への委員参画

甲賀市地域ケア会議　高齢者虐待個別ケース検討委員

甲賀市介護認定審査会　審査委員

◎法令遵守

自立支援医療機関（育成医療・更生医療）指定更新申請　　H31 年 2 月 25 日

※指定期間：平成 31 年 3 月 1 日から令和 7 年 2 月 28 日

自立支援医療機関（精神通院医療）指定更新申請　　H31 年 2 月 25 日

※指定期間：平成 31 年 3 月 1 日から令和 7 年 2 月 28 日

①事業運営状況

○訪問看護年間利用状況

	利用者	回数	一人当たり 平均利用回数
介護給付	1,201（1,187）	5,472（6,041）	4.6（5.1）
予防給付	175（210）	476（659）	2.7（3.1）
その他	21（0）	61（0）	2.9（0）
計	1,397（1,397）	6,009（6,700）	4.3（4.8）
月平均	116（116）	501（558）	4.3（4.8）

※（　）内前年数字

６．居宅介護支援事業

◎介護支援専門員実務研修事業所実習生受け入れ

ケアプランセンターしがらき　　1名受け入れ
2月　3日間

※本年度介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対して専門的知識技術を習得させることを目的として現場実習を行った。

◎社協全ケアマネジャー認知症支援報告会開催

3月1日（金）　甲賀市市民福祉活動センター　18事例報告　18名参加

※認知症ケアプラン作成のスキルアップを図り、事例集としてまとめ業務手引きとした。

◎第13回 滋賀県介護支援専門員研究会　平成30年11月19日(月)

日本介護支援専門員協会　第１８回近畿ブロック研究大会　in　奈良　3月24日（日）

研究発表を行った。

「在宅看取りに関するアンケート調査から」

～在宅看取りの取り組みに関する効果を検証する～」

※平成26年度より目標管理で取り組んできた、「在宅看取り」について、在宅生活支援部職員へのアンケートを実施し、取り組みの効果と課題を検証し、発表した。

◎甲賀市が開催する自立支援型小地域ケア会議へ、専門職（歯科衛生士）のアドバイザーとして参画

◎地域包括支援センター主任ケアマネジャー出向

業務内容　甲賀市包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

出向期間　平成30年4月1日　～　平成31年3月31日

業務地　甲南地域包括支援センター

◎利用者、住民への在宅看取りの啓発を継続し、平成30年度は、社協利用者ケアプラン死亡終了者のうち、33.3%の方を最期まで在宅で看取支援を行った。

①事業運営状況

○居宅介護支援事業実績状況

	利用者	認定調査	介護予防サービス・支援計画
ぬくもり	2,734（2,731）	194（204）	354（364）
あい	1,551（1,741）	112（178）	364（375）
そら	625（652）	22（33）	61（85）
しがらき	2,189（2,289）	185（245）	284（320）
合計	7,099（7,413）	513（660）	1,063（1,144）
月平均	592（618）	43（55）	89（95）

※（　）内前年数字

Ⅳ.「相談・支援」の取り組み

１.生活困窮者自立支援の取り組み

生活困窮者自立支援法に基づき、社会的孤立にある人・経済的困窮にある人、制度のはざまにある人などに対して、家計の管理ができるようになり、生活のリズムを取り戻し、社会ともつながることができるよう自立を支援する自立相談支援事業・家計相談支援事業を市から受託し事業を実施した。

この事業は従来から取り組んできた総合相談事業や資金貸付事業や生活物資の提供をはじめとして、各地域福祉活動センターを拠点とした各種の地域福祉活動・支援活動等と一体的に支援活動を実施した。

（１）自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進

（市受託事業）

①生活相談・困窮相談への対応

【相談件数】　　２３４件（内訳　新規相談８８件・継続相談１４６件）

【延べ件数】１，０４９件

相談（延べ件数）の内訳　　（単位：件）			
①　病気・障がいについて	162	⑨地域との関係について	15
②　住まいについて	57	⑩家族との関係について	40
③　収入・生活費について	258	⑪子育てについて	45
④　家賃・ローンの支払について	69	⑫介護について	19
⑤　税金・公共料金の支払について	69	⑬ひきこもり・不登校について	4
⑥　債務・借金について	109	⑭ＤＶ・虐待について	8
⑦　仕事・就職について	64	⑮食べる物がない	59
⑧　仕事のトラブルについて	22	⑯その他	49

②家計相談支援の状況

【支援件数】２８件（内訳　新規１２・継続１６件）

【支援内容】家計収支のバランスが取れていないなど、家計に問題を抱え、現に経済的に困窮している世帯について、市生活支援課と連携し自立促進を目標に、相談支援を実施する。

（債務整理手続き、滞納税等の分納手続き、給付金等受給手続き、公共料金の支払手続き、法的相談、年金申請などの同行支援等を含む。）

《研修会等》

○生活困窮者自立支援事業　家計改善支援研修会

【日　時】1 月 31 日(木) 13:30～16:30

【場　所】長寿社会福祉センター

【参加者】家計改善支援員、主任相談支援員、生活福祉資金貸付担当者、社協１名

〇自立相談支援・家計改善支援等にかかわる会議・研修会等

〇甲賀市役所生活支援課との定例連絡会の実施

【回　数】４９回（毎週水曜日の実施）

【内　容】市・社協で受けた全困窮相談の情報共有・支援の方向性確認等を実施

【場　所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、就労準備支援機関、社協

〇青少年自立支援ホーム 一歩　運営委員会

【日　時】９月 10 日、3 月 4 日

【場　所】青少年自立支援ホーム 一歩

【参加者】一歩運営委員会委員、社協１名

③ひきこもり支援事業（サロンぽるた開設や訪問支援・同行支援等）

生活困窮世帯でかつ閉じこもりがちな方に対して、居場所づくりや社会参加の促進を目的にサロンの開設を実施した。

〇支援内容　個別面談（傾聴支援）、就労支援（ハローワーク・生活支援課同席傾聴支援）、自宅訪問、就労先同行支援、障がい者サロンとの交流、季節の手芸作成、等

④こうか心配ごと相談

【趣　　旨】住民の自立支援を目的に、暮らしに関わる困りごとの解決に向け、民生委員児童委員活動と連携しながら、側面的に支援する。また必要に応じて他機関を紹介する橋渡し的な相談所として開設。

【開設場所】水口社会福祉センター

【開設日時】毎週月曜日（祝祭日・年末年始は除く）　13:30～16:00

【相 談 員】民生委員児童委員（社協）

【実　　績】開設日数 45 日・のべ相談者数 19 人　（参考：H29 相談者数 62 人）

〇心配ごと相談員研修会（社協主催）

【日　　時】１月１１日（金）13:30～15:30

【内　　容】「困難事例への相談スキル向上～インテークを中心に～」

【参　　加】民生委員児童委員４９名、社協３名

【場　　所】水口社会福祉センター　福祉ホール

⑤法律相談

【趣　　旨】住民の自立支援を目的に、暮らしに関わる困りごとの解決に向け法律的側面から支援する。

【開　　設】水口社会福祉センター、老人福祉センター フィランソ土山、信楽地域市民センター、かふか生涯学習館、甲賀市市民福祉活動センター

【時　　間】13:00～16:00

【相談者数】1 回 6 人

【相談委員】滋賀弁護士会所属弁護士
【実　　績】開設日数　３６日　相談数　２０８名

⑥職員総合相談「福祉なんでも相談」（受託外　共配）

【趣　　旨】住民の暮らしに関わる課題を総合的に解決支援するため、社協機能や役割を十分に発揮し、社協内外の連携を密にしながら取り組む。社協全職員が一体となって取り組むことにより社協機能を強化しニーズに応じたサービスづくりへとつなげていく。
【対応時間】社協の業務時間中（随時対応）
【相 談 員】社協
【実　　績】相談件数　610 件　（参考：H29 実績　834 件、H28 実績　672 件）

○相談件数の内訳（各種分類）

相談者分類	本　人	家族等	地　　域	市役所	福祉関連	その他				計
	144	33	232	39	79	83				610
相談対象者分　類	高齢	障がい	児童	生活困窮	一般	その他				計
	235	44	67	55	110	99				610
内容分類	経　済	家　　庭	社　　会	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ	その他					計
	84	32	44	343	107					610

（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施

（市受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯の子どもたちに対し、貧困が世代をこえて連鎖することがないよう、学習・食事・生活習慣の確立などを支援し、子どもたちが自らの能力を伸ばし、社会で自立して生きていく力を身につけることができることを目的に実施される甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」水口・月曜教室を受託し事業実施した。

○甲賀市学習支援事業　「学んでいコウカ」水口・月曜教室の目標
①心いやされる居場所づくりとしての取り組み
②生活習慣の確立と食の確保の取り組み
③将来の夢や職業観を持てる取り組み
④基礎的な学力定着と学力の向上のための取り組み

○水口・月曜教室の概要、実績
・開設日時　毎週月曜日（祝祭日は除く）　18:00～20:00
・開設場所　水口社会福祉センター
・登録児童　小学生 11 名、中学生 6 名、高校生 0 名

・スタッフ　学習指導員２名、運営サポーター12 名
・年間実績　・年 間 開 設 日 数　　41 日
・年間利用児童数　延 457 名
・１回あたりの利用児童者数　11.1 人（平均）
・年間サポーター数　延 326 名
・１回あたりのサポーター数　　7.9 人（平均）
・特別企画内容　ゲストティーチャーを招き、さまざまな講話等を実施
本の読み聞かせ、防災学習、もんじゃの会、など

○学習支援事業「学んでいコウカ」に関する会議・研修会等
・学習支援事業　代表者会議
【回　数】11 回
【内　容】各教室の状況等情報交換、指導員研修等
【場　所】甲賀市役所
【参加者】市生活支援課、各教室代表者、社協

・子ども（児童・生徒）のエンパワメント支援研修会
【日　時】8 月 30 日（木）19:00～21:00
【場　所】甲賀市役所別館１階会議室 101 号室
【参加者】市内児童福祉関係者、社協３名, サポーター6 名

（３）生活物資支えあい事業

経済的・一時的に困窮し、生活物資が必要となった相談者に対し、善意銀行の預託金品等を活用して食料等を提供することで生活再建を図ることを目的に実施した。

【提供件数】178 件　（参考：H29＝161 件、H28＝181 件、H27＝299 件）
【支援物資】米、即席めん、味噌汁、レトルト食品、味付け海苔、小麦粉、カセットボンベ、紙おむつ、布団、毛布、テレホンカード、他

・水口　116 件（食品　2,699 点、米　599Ｋｇ、その他 25 点）
・土山　16 件（食品　223 点、米　10Ｋｇ、その他　0 点）
・甲賀　5 件（食品　50 点、米　250Ｋｇ、その他　0 点）
・甲南　38 件（食品　331 点、米　194Ｋｇ、その他　3 点）
・信楽　3 件（食品　33 点、米　10Ｋｇ、その他　2 点）

２．生活支援活動

（１）資金貸付事業

①小口資金の貸付　　（単位：円）

平成30年度　小口資金の貸付状況							
地域	新規貸付		年度中償還額	貸付金残額(3 月 31 日現在)			
	件数	金額		件数	金額	内滞納件数	内滞納額
水口	20	437,953	718,953	113	3,124,000	101	2,944,000
土山	4	90,000	75,000	16	374,000	10	292,000
甲賀	0	0	106,000	7	259,000	6	259,000
甲南	8	116,000	171,000	8	241,000	5	177,000
信楽	2	40,000	0	11	329,000	7	279,000
合計	**34**	**683,953**	**1,070,953**	**155**	**4,327,000**	**129**	**3,951,000**

※平成 30 年度は、借受人の内２名が死亡し、甲賀市役所へ照会確認の上、19,000 円を欠損処理（徴収不能）の対象とした。

②生活福祉資金の貸付

1) 平成 30 年度・新規貸付の決定状況（資金種別ごと）　　（単位：円）

地域	総合支援資金		緊急小口資金		福祉資金		教育支援資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
水口	1	150,000	4	390,000	1	452,000	10	14,861,000
土山	0	0	1	100,000	0	0	0	0
甲賀	0	0	0	0	0	0	1	1,560,000
甲南	0	0	1	100,000	0	0	6	10,931,000
信楽	0	0	1	100,000	0	0	3	2,614,000
市計	1	150,000	7	690,000	1	452,000	20	29,966,000

地域	生活復興支援資金		臨時特例つなぎ資金		合　計		前年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		金額
水口	0	0	0	0	16	15,853,000	23	28,269,000
土山	0	0	0	0	1	100,000	2	2,435,000
甲賀	0	0	0	0	1	1,560,000	2	464,000
甲南	0	0	0	0	7	11,031,000	6	7,042,000
信楽	0	0	0	0	4	2,714,000	0	0
市計	0	0	0	0	29	31,258,000	33	38,210,000

2) 貸付状況　　貸付総件数　555 件　　貸付残額　327,288,844 円

件数内訳（更生 3、福祉 59、福祉（住宅）1、教育支援 229、療養・介護等 7、生活復興支援 1 、緊急小口 55、離職者支援 5、総合支援 186、つなぎ 9）

（２）地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター）

認知症・知的・精神に障がいがあり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施した。

事業利用契約者数　　128 件　（継続 105 件）

【平成 30 年度の新規契約件数および契約終了件数】

・新規契約数 6 名（高齢者 2 名、知的障がい者 3 名、精神障がい者 1 名　その他 0 名）

・契約終了数 17 名（高齢者 6 名、知的障がい者 7 名、精神障がい者 4 名　その他 0 名）

①事業の問い合わせ・相談・援助件数（年間累計）

利用者種別	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	H29（参考）
問い合わせ件数	15	19	6	2	42	42
初回相談件数	9	12	5	1	27	40
相談援助件数	1,743	5,398	2,219	242	9,602	11,058
合　計	1,767	5,429	2,230	245	9,671	11,140

②地域福祉権利擁護事業にかかる会議・研修・セミナー等の開催

1)市民向け「権利擁護セミナー」（成年後見センターぱんじーと共催）

【日　　時】2 月 2 日
【場　　所】水口社会福祉センター
【内　　容】地域での高齢者・障がい者の権利擁護について等
【参　　加】一般 20 名、スタッフ 7 名、講師 1 名、ふりぃだむ

２）権利擁護に関する研修会

【日　　時】10 月 15 日
【場　　所】JA ゆうはーと
【内　　容】地域福祉権利擁護事業についての学習会
【参　　加】地域のケアマネジャー　10 名　社協 1 名（講師として参加）

3)内部会議・ケース検討会等

○権利擁護事業利用者ケース検討（弁護士参加）

【回　　数】12 回
【会　　場】水口社会福祉センター
【参　　加】弁護士、支援専門員

○個別ケース会議（個別支援調整会議）への参加

【回　　数】55 回
【参　　加】社協延 57 名参加

４）行政会議・ネットワーク会議・研修会等

○甲賀地域 障害児･者サービス調整会議（甲賀地域自立支援協議会）

【開　　催】9 回（定例会議・全体会議、推進会議に参加）
【場　　所】甲賀県事務所
【参　　加】甲賀圏域の関係機関、関係支援ワーカー、担当者等

○甲賀市障害者虐待防止ネットワーク協議会

【日　　時】８月２日、２月２０日
【場　　所】甲賀市役所
【参　　加】ネットワーク協議会構成員

○甲賀市障害者差別解消地域支援協議会

【日　　時】８月２日、２月２０日
【場　　所】甲賀市役所
【参　　加】地域協議会構成員、社協

○県運営適正化委員会による運営監視・現地調査

【日　　時】１２月１３日

【内　　容】事業の適正実施の確認、利用者預かり物の確認、
　　ケース記録・管理記録簿等の確認による助言等

【場　　所】水口社会福祉センター

【参　　加】県運営適正化委員３名、県社協事務局１名、本会職員８名

○コミュニティワーク基礎研修

【日　　時】12 月 9 日～10 日

【内　　容】講義と演習によりコミュニティワークの実践力を学ぶ

【場　　所】東近江市　あいきょうの森

【参　　加】社協１名

○権利擁護支援従事者研修会

【日　　時】6 月 13 日　6 月 21 日　6 月 28 日

【内　　容】生活支援員/新任職員研修会

【場　　所】長寿社会福祉センター

【参　　加】社協１名

○甲賀地域障害者福祉を考える集い・企画会議

【日　　時】1 月 15 日　11 月 28 日

【場　　所】甲賀合同庁舎

【参　　加】湖南市、甲賀市、関係機関職員

○成年後見制度利用促進に関する研修会

【日　　時】31 年 2 月 6 日

【場　　所】甲賀市役所

【参　　加】甲賀圏域　行政職員、地権担当者

○専門員実践力強化研修会 1

【日　　時】7 月 17 日～18 日

【場　　所】全国社会福祉協議会　灘尾ホール

【参　　加】日常的自立支援事業の専門員

（３）甲賀・湖南成年後見センターぱんじーへの支援・協働

○高齢者・障がい者なんでも相談会 in 甲賀・湖南および事例検討会に参画

【開　　催】2 回（①７月２１日　②１月１９日）

【内　　容】あらゆる相談への対応

【場　　所】①湖南市保健センター　②水口社会福祉センター
【参　　加】専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等)、行政職員

３．障がい者への相談支援・計画相談支援の実施

「障害者の日常生活及び社会生活を支援するための法律（障害者総合支援法)」の規定により指定特定相談支援事業者の指定を受け、平成 28 年 4 月 1 日から相談支援事業を実施。

相談支援専門員（兼務）を 3 名配置し、計画相談支援（サービス等利用計画の作成)・基本相談支援の事業を展開し、障がい福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、もっとも適切なサービスの組み合わせについて検討し計画を作成支援した。

【相　談　件　数】 2 件
【 契 約 者 数 】35 人（水口 11、土山 7、甲賀 7、甲南 5、信楽 5)
【計 画 作 成 件 数】36 件
【モニタリング件数】79 件

（会議・研修会等）

○甲賀地域障害児・者サービス調整会議　相談支援事業ネットワーク部会への参画

地域内の相談機関による活動の情報交換・共有を行い、相談支援事業の課題に向けた取り組みを検討・実施する目的で開催された会議

【開　　催】11 回（毎月第 1 火曜日)（台風接近のため 1 回中止されたため)
【場　　所】甲賀県事務所

○甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター主催研修への参画

甲賀圏域の相談員のスキルアップや、円滑な事業実施ができるように開催され参加

【開　　催】10 回（4 月および 2 月を除くの第 3 木曜日)
【場　　所】甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター（湖南市)

４．滋賀の縁創造実践センター事業への参画・協働

○「甲賀湖南ひきこもり支援　～奏　かなで～」への参画・活動支援

【会 議 等】運営会議４回
　　啓発部会４回
　　実践報告会(1 月 26 日、忍の里ぷらら)
【内　　容】ひきこもりがちな人やその家族へ支援を届けるためのモデル事業として実施。さわらび福祉会と連携して、制度にとらわれない訪問型アウトリーチ支援・交流できる居場所づくりなどを湖南市若竹町の施設を拠点に実施されている活動へ参画・支援を行った。
【場　　所】甲賀健康福祉事務所

○　難病患者の住みよいまちづくりモデル事業

滋賀県難病連絡協議会と医療・福祉の関係者が協働で難病患者の住みよいまちづくりに取り組んだ。モデル事業としては3年目となり、今年度は、甲賀圏域の難病患者への支援に関するすべての福祉サービスを網羅した冊子を作成することができた。

【会 議 等】検討会議６回
【場　　所】公立甲賀病院等

５．身元保証人不在者支援への参画・協働

○居住確保が困難な方（保証人や身元引受人が不在の方）が、当圏域で暮らし続けられることを実現するための居住確保の生活基盤づくりを目指す

○不動産会社と利用者の間に医療・福祉等関係者が、介入することにより住宅確保のための新たな仕組みを模索する。

【会 議 等】検討会　2回　（年間3回実施）
【場　　所】甲賀保健所　１階大会議室

Ⅴ．福祉作業所の運営

多様な障がいがある利用者を受け入れていくため、また利用者の自立を目指し支援していくために、平成30年度も職員の質の向上をめざし、両作業所がお互いの事業を共有して運営ができるよう、パート職員も含めた合同研修会を行なうなど、両作業所が互いに交流を深め、発展していけるよう基盤強化に努めた。

１．つちやま福祉作業所

（１）利用者の状況

【利 用 者 数】　就労継続支援Ｂ型 11名（定員 20 名）（男子：8 名 女子：3 名）
※平成 30 年度利用者 1 名退所（長期入院から、援護寮への入寮のため）

【利用者住所地】　土山町 9 名 甲賀町 1 名 水口町１名

【障がい区分】　精神：2 名 知的：8 名 知的・身体：1 名

【障害支援区分】　非該当：１名　なし ：4 名
区分１：3名　区分 2：2名　区分３：１名

【年間平均通所率】　72.9%（H29 年度 73.3%）

【年間平均工賃】　月額 16,989 円／1 人（平成 29 年度 13,104 円／1 人）
※但し期末手当含まず（変更有）

（２）作業内容

【企業支援による内職】
・滋賀ボルト(株)　ボルト・ナットの組み立て
・(有)中島電器製作所　電気部品の組み立て
・倉英工業(株)　ゴム製品の穴あけ加工
・（有）名倉紙工　菓子箱の組み立て作業
・(株)JEJ　プラスチック製品の加工

【就労支援事業】
・市委託事業　草刈り清掃業務（年間通じて）
すまいるかふぇへの参画（週１日・隔週１日）

【リサイクル事業】
・アルミ缶の回収（区・自治会・企業）　（株）昭和アルミ買取
・アルミ缶の回収（区・自治会・企業）　（株）信基金属買取
・古紙の回収（区・自治会・企業）　（株）農環 ダンボール買取

【その他事業】
・物資斡旋販売 そうめん、うどんの斡旋販売
・自主事業　米袋のリサイクルとしてエコバッグの作成・販売

（３）所内行事

（4 月）　保護者会　お花見
（5 月）　チャリティー歌謡祭　ソロプチミスト贈呈式
（6 月）　外出支援（草津イオン・守山メロンハウス）
（7 月）　ダイトロン贈呈式
（8 月）　夏季休暇（11 日～15 日）

（9 月）　食堂・シャワー室改修　記念パーティー
（10 月）　日帰り旅行（大阪市内）　芋ほり体験　歯科検診
（11 月）　健康診断　すこやか荘交流会　公共交通機関利用訓練（多賀大社）
（12 月）　あすなろのつどい、保護者会、エコバッグ試作会、忘年会
年末休暇（29 日～31 日）
（1 月）　書初め、初詣、エコバッグ製作会 年始休暇（1 日～3 日）
（2 月）　外出支援　田村まつり　日野商人屋敷見学
（3 月）　ふうせんバレーボール大会　地域福祉大会　近江米販売促進イベント

（４）ボランティアの状況

・土山町民生委員児童委員協議会障害者部会（リサイクル回収）
・土山町ゆうゆうクラブ連合会（リサイクル回収）
・大野地区日赤奉仕団（作業所の清掃作業）
・作業所支援個人ボランティア（内職・すまいるかふぇ・給食・リサイクル）
・保護者会（各行事運営）

（５）実習の状況

・土山中学校職場体験学習　6 月 25 日～6 月 29 日
・大野小学校　体験学習　12 月 3 日
・三雲養護学校　高等部実習　8 月 29 日～8 月 31 日、9 月 5 日～9 月 7 日、
10 月 1 日（見学）、10 月 3 日（見学）、1 月 28 日～30 日

（６）定例会議等

・職員会議（月 1 回）
・サービス調整会議（毎月 1 回）
・各ケース検討会議（随時）
・作業所検討部会（毎月 1 回）
・土山エリア会議（毎月 1 回）
・進路調整部会（年 3 回）

（７）職員の研修等

・職員所内研修：　問題行動について　8 月 27 日
「障がいって？」障がい特性を知る　12 月 26 日
・職員所内合同研修：（両作業所サービス管理責任者主催）　9 月 5 日　3 月 1 日
・職員研修（法人内各種研修に参加）

≪平成 30 年度は従来の事業に加え、新たに施設外就労となる「すまいるかふぇ」の運営や、自主事業としてのエコバッグ製作・販売、各種イベントへのコーヒー出店など、外部に向けての取り組みを活発に展開した。
また、公共交通機関の利用訓練や外出支援における計画的な金銭の使い方の支援などによ

り、利用者個々に合わせた自立に向けた支援を少しずつではあるが、進めることができた。施設等の整備においては、ダイトロン福祉財団や土山町内篤志家による高額寄付もあり、ハード面の整備等において、シャワー室・食堂の改修、所内空調設備の整備、看板の設置など、充実した１年となった。

次年度も地域に開かれた事業所をめざし、利用者個々のニーズに合わせた支援を行いながら、地域の方々との関わりを通して、利用者の暮らす地域とともにある事業所づくりを進めていきたい。≫

２．甲賀福祉作業所

（１）利用者の状況

【利　用　者　数】就労継続支援Ｂ型　29 名（定員 34 名）（男子：19 名　女子：10 名）
自立生活訓練事業　平成 30 年度より希望利用者無しの為休止中
（新規利用者）
※H30.3 新規 2 名増
（退所者）
※H31.3　サービス変更となったため 1 名退所
※H3.3　就労継続支援Ａ型事業所へ移行（雇用契約結ぶ）

【利用者住所地】甲賀町 17 名　水口町 2 名　土山町 3 名　甲南町 2 名　信楽町 2 名
湖南市 3 名

【障 が い 区 分】精神：3 名　知的：26 名（発達障がい含む）

【障害支援区分】なし：13 名、区分 1：1 名、区分 2：7 名，区分 3:2 名、区分 4：5 名、
区分 6：1 名

【年間平均通所率】87.6%（平成 29 年度　88%）

【年間平均工賃】月額 12,455 円／1 人（前年度平均 11,500 円）

（２）作業内容

【企業支援による内職】　内職先事業所

- (株)ヤマシナ　自動車部品規格外品の選別
- 田中縫工所　布団の紐切り・結び
- (株) スナッツフーズ　ポップコーンのカップシール貼り
- (株) アサヒテック　リフト車のケーブル加工・ゴム付け
- (株) コーガアイソトープ　検品作業
- (有) トラスト　プラスチック選別作業、シール取り
- (株) 加藤製作所　室外機基盤部品入れ、説明書折り、箱折り

≪内職作業を通じて、報告方法や困ったときの伝え方、仕事と余暇の切り替え、自信や達成感、充実感を持ってもらい、それぞれの課題に沿った支援を行っている。≫

【自主事業】　製菓事業

（製品）：バウムクーヘン（プレーン・ゴマ）メレンゲ・カットバウム（プレーン・ゴマ）

バウムクッキー（プレーン・ゴマ・シナモン）等

（卸先）：新名神土山 SA、道の駅あいの土山、ダイヤモンド滋賀 GC、（有）甲賀もち工房、サラダ館、新名神甲南 PA 上り線、JA 花野果市、雄山閣（大津）等

（仕入の販売）

・命のバトン関連商品の組み立て販売

≪命のバトン事業については、受注先の状況により変動する状況である。平成 30 年度は、例年と比較して注文数が極端に減り、昨年度より売り上げが減収となった。甲賀市内では、ある一定配布されているため新規分のみを受けている。

バウムクーヘン事業では、大口注文があり、店舗売り上げだけでなく、企業からの注文や地域の敬老会事業の注文があったことで、売り上げが増収となった。利用者一人が一つの作業ではなく、いろいろな作業に携わってもらい、作業を行えている。

得意・不得意があるものの、不得意作業も工夫をすることで、できるようになったり、充実した作業の場となっている。≫

【喫茶事業】

・喫茶お和しすの事業運営

・すまいるかふぇへの事業参画（週 1 日）

≪地元住民のボランティアの支援を受けて 2 年、昨年度より活気のある「喫茶お和しす」となり、甲賀町住民の憩いの場となってきている。さらに飲料だけでなくクッキーやバウムクーヘンに加えて軽食なども取れるようにメニューの見直しを行った。利用者もボランティアの方と一緒に働く事で刺激を受け、地域の方との交流を深め楽しく活動を行っている。≫

【施設外就労】

・（新規）㈱トラスト（パチンコ台等産業廃棄物解体処理）

≪一般企業で働く事により、就職に向け実績を積み、各々に応じた支援を行えている。施設外就労の方から 1 名の雇用契約を結ばれる利用者を輩出する事ができた。≫

【その他事業】

・農産物（栗）収穫・販売（甲賀町手をつなぐ育成会協力）

・リサイクル事業（町内企業、図書館、市内社協事業所への古紙、アルミ缶回収およびリサイクル庫開放による市内個人からの古紙、アルミ缶の搬入）

＜今年度実績＞

アルミ缶	年間売却益	134,541 円
古紙回収	年間売却益	364,458 円

≪より多くの市民の方に、甲賀町内のリサイクルステーションとして認識していただけるようになった。継続した広報活動にも力を入れていきたい。≫

【社協管理施設の清掃業務受託】

・甲賀市市民活動センター（甲南）の清掃業務　毎週火曜　1 回 3～4 人従事

・水口社会福祉センターの清掃業務　　毎週火・木曜　1回3～4人従事
・鮎河保育園の草引き作業の優先発注受託　　5月～8月　1回3～6人従事　計4回
・甲賀駅清掃（優先発注受託）
・油日駅清掃（優先発注受託）
・ここも一り、除草作業　　年間3回
・佐山荘の清掃業務　　毎週水・金曜　1回3～4人従事
・すこやか荘の清掃業務　　毎週火・水・金曜 1回1人従事

≪平成30年度も継続し清掃作業を行った。主に甲賀市社会福祉協議会管理施設の清掃、甲賀市優先調達推進法での委託事業を行っている。≫

（３）所内行事

（４月）水口アルプラ買い物実習、スポーツの森
（５月）甲賀市役所見学・すまいるかふぇ
（６月）クッキー作り
（７月）大原祇園
（８月）警察署見学⇒イオンタウン湖南
（９月）保護者会主催バーベキュー
　　歯科検診
（10月）滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会スポーツフェスティバル
　　一日旅行　京都鉄道博物館⇒太秦映画村
（11月）こうかサスケくらぶスポーツ出前講座
（12月）NO-MA作品展覧会鑑賞　⇒　マイカル近江八幡にて昼食、買い物
（1月）田村神社初もうで　⇒　挨拶回り　⇒　アルプラザ水口にて昼食、買い物
（２月）田村神社　厄除大祭
　　こうかサスケクラブスポーツ出前講座
（３月）カラオケ

※お誕生日会（毎月）・・・・利用者の誕生日月に実施。好きなデザート1品。

（４）ボランティアの状況

・毎週月曜日　更生保護女性会甲賀支部　2～3名　内職等
・毎週木曜日　日本赤十字奉仕団　2～3名　内職等
・10月～11月　毎週月・木　甲賀健康医療専門学校　3～4人　内職、レクリエーション等
・毎月第２火曜　民生児童委員　２名　内職等
・喫茶お和しすボランティア　火～金（毎回3～4人）

（５）視察の受け入れなど

見学希望者　随時

（６）実習の状況

見学　　・・・　三雲養護学校高等部１年生（12 名）
体験実習　　・・・　三雲養護学校高等部３年生（2 名）
甲賀中学校　・・・　職場体験（2 名）
体験実習　　・・・　甲賀町民２名
体験実習　　・・・　わたむきの里１名

（７）会議等

定例会議等

・サービス調整会議（毎月１回）　・職員会議（毎月１回）
・ケース会議（不定期　随時）　・工賃検討会議（年１回）
・作業所検討部会（毎月１回）　・個別支援計画作成会議（年２回）
・モニタリング会議（年２回）　・甲賀エリア会議（毎月１回）
・進路調整部会（年３回）　・薪定例会（毎月第１水曜日）

（８）職員の研修等

・障害者虐待防止研修（甲賀市役所）
・近畿社会就労センター長研修会（神戸オリエンタルホテル）
・近畿中堅職員研修（和歌山）
・知ハン協施設長研修（東京国際フォーラム）
・滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会施設長研修（彦根勤労福祉会館）
・職員所内研修　障害制度について
・職員所内研修　「伝える」について（甲賀つちやま両サービス管理責任者主催）
・意思決定支援について（滋賀）

≪甲賀福祉作業所では、平成 30 年度は仕事以外の支援にも力を入れ、芸術の部門で利用者が活躍できた。新聞等に取り上げられ、利用者の作品が世の中に出ていくきっかけとなった。
各利用者への対応では、個別ニーズをしっかり伺い、ニーズに合わせ意思決定支援を意識して行う事ができた。各利用者の要望に応えることにより、甲賀福祉作業所より初めての雇用契約を結ばれる利用者を輩出する事が出来、本人の望まれる生活を支援する事ができた。また、介護部門で資格を取得されるなど作業所の中だけでとどまることなく、多岐にわたり支援を行う事ができた。≫